covia

デジタルハイビジョン液晶テレビ

CTV26-C1/CTV32-C1

取扱説明書

このたびはお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本書では、安全上のご注意、設置、接続、初期設定などについて説明しています。
お求めの液晶テレビを安全に正しくお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになられたあとは、いつでも見ることができるところに保管してご使用おねがいします。

ご利用までのながれ
（準備・設置・接続・設定）

本製品をご利用いただくまでの基本的な流れです。

ステップ 1 ➡ **■箱を開けて付属品を確認してください。**
P.10 参照

▼

ステップ 2 ➡ **■本体とリモコンの各部の名前と機能を確認してください。**
P.12 参照

▼

ステップ 3 ➡ **■本体を設置してください。**
P.20 参照

▼

ステップ 4 ➡ **■ B-CAS カードを挿入してください。**
P.22 参照

▼

ステップ 5 ➡ **■リモコンの準備をしてください。**
P.23 参照

▼

ステップ 6 ➡ **■アンテナを接続してください。**
P.24 参照

▼

ステップ 7 ➡ **■本体と外部機器を接続してください。**
P.28 参照

▼

ステップ 8 ➡ **■本体の設定をしてください**
P.42 参照

本書の読みかた

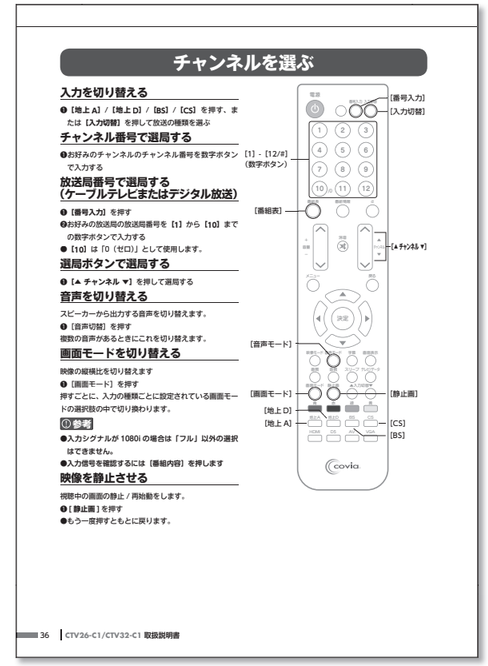
説明のしかたについて

●本書は、CTV26-C1/CTV32-C1 の 2 つのモデルの取扱いを説明しています。特に断り書きのない場合は、2つのモデルを代表して CTV32-C1 についての説明のみとさせて頂きますので、あらかじめご了承頂けますようお願いいたします。

●本書は、リモコンでの操作を前提に説明をしております。特に必要がある場合を除いて、リモコンのみでの操作説明とさせていただいています。

●文中の太字は画面に表示される選択項目、括弧付きの太字はボタン名を表しています。
例）
選択項目：**受信設定 / リモコン設定 / 受信レベル**
ボタン名：**【電源】/【映像切替】/【決定】**

●本書の操作説明のページは、各ページ左側に説明文、操作に関連する表示やリモコンのイラストを右側に記載しています。イラストは、そのページで使用するボタンがわかるように記載しています。


チャンネルを選ぶ

入力を切り替える
●【地上 A】/【地上 D】/【BS】/【CS】を押す、または【入力切替】を押して放送の種類を選ぶ

チャンネル番号で選局する
❶お好みのチャンネルのチャンネル番号を数字ボタンで入力する

放送局番号で選局する（ケーブルテレビまたはデジタル放送）
❶【番号入力】を押す
❷お好みの放送局の放送局番号を【1】から【10】までの数字ボタンで入力する
●【10】は「0（ゼロ）」として使用します。

選局ボタンで選局する
❶【∧ チャンネル ∨】を押して選局する

音声を切り替える
スピーカーから出力する音声を切り替えます。
❶【音声切替】を押す
複数の音声があるときにこれを切り替えます。

画面モードを切り替える
映像の縦横比を切り替えます
❶【画面モード】を押す
押すごとに、入力の種類ごとに設定されている画面モードの選択肢の中で切り換わります。

参考
●入力シグナルが 1080i の場合は「フル」以外の選択はできません。
●入力信号を確認するには【番組内容】を押します

映像を静止させる
視聴中の画面の静止 / 再始動をします。
❶【静止画】を押す
●もう一度押すともとに戻ります。

【番号入力】
【入力切替】
【1】- 【12/0】（数字ボタン）
【番組表】
【∧ チャンネル ∨】
【音声モード】
【画面モード】
【静止画】
【地上 D】
【地上 A】
【CS】
【BS】

36 CTV26-C1/CTV32-C1 取扱説明書

アイコンについて

●**注意マーク**・・・・ **⚠注意** に続く説明文は、本製品の取り扱い時に注意すべき事項です。重要な内容を含みますので、必ずお読みください。

●**参考マーク**・・・・ **参考** に続く説明文は、本製品を快適にお使いいただく上で知っておいていただきたい内容です。できるだけお読みください。

安全上のご注意

お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい重要な内容を記載しています。

本文を必ずお読みになり内容をよく理解された上で、記載事項を守り、お使いください。

表示と絵記号の説明

●警告表示の意味

⚠ 警告	「取扱を誤った場合、人が死亡※1、または重傷を負うことが想定されること」を示します。
⚠ 注意	「取扱を誤った場合、人が軽傷※2を負うことが想定されたり、物的損害※3の発生が想定されること」を示します。

※1. 重　　傷：失明やけが、やけど、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものをさします。

※2. 軽　　傷：治療に入院や長期の通院を必要としない、けが、やけど、感電などをさします。

※3. 物的損害：家屋・家財およびペットなどにかかわる拡大損害をさします。

●絵記号の意味　⚠⃠❗の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

⚠	注意を示します。
⃠	禁止 (してはいけないこと) を示します。
❗	しなければならない行為を示します。

⚠ 警告

異常や故障の場合

電源プラグを抜く	**煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。** そのまま使用を続けると、火災や感電の恐れがあります。 煙が出なくなるのを確認したら、お買い上げの販売店にご連絡ください。
電源プラグを抜く	**正しく接続されているのに、画面が写らない、音声が出ない場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。** そのまま使用を続けると、火災の原因となる恐れがあります。 お買い上げの販売店にご相談ください。
電源プラグを抜く	**本体内部に水や異物が入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。** そのまま使用を続けると、火災や感電の恐れがあります。 お買い上げの販売店にご相談ください。
電源プラグを抜く	**本体を転倒したり落としたりしてキャビネットが破損した場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。** そのまま使用を続けると、火災や感電の原因となる恐れがあります。また、破損したキャビネットを取り扱うとけがの恐れがあります。 お買い上げの販売店にご相談ください。

異常や故障の場合

電源プラグを抜く	**電源コードや電源プラグが破損したり、発熱したりする場合は本体の電源を切り、電源プラグが冷えたことを確認してからコンセントから抜いてください。** そのまま使用を続けると、火災や感電の恐れがあります。 電源コートや電源プラグが破損した場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

設置する際

指 示	**本製品を設置するときはコンセントから電源プラグが抜きやすい場所に設置する。** 異常や故障が起こった場合や、長時間使用しないときなどに役立ちます。
水場での使用禁止	**本製品を屋外や浴室などの水がかかる恐れのあるところに設置しないでください。** 火災や感電の原因となります。
禁 止	**本製品をぐらついたり、傾いたり、不安定な場所に設置しないでください。** 本体が落ちて、けがの原因となります。必ず、水平で安定した場所に設置してください。テレビ台などを使用する場合は、その取扱説明書もよくお読みください。
禁 止	**常に振動が発生する場所に本製品を設置しないでください。** 振動により本体が転倒・落下しけがの原因となる恐れがあります。
指 示	**電源プラグは交流 100V コンセントに確実に差し込んでください。** 交流 100V 以外のコンセントを使用すると火災や感電の原因となります。 電源プラグが根元まで差し込まれていないと、発熱による火災の原因となります。 傷んだ電源プラグや、ゆるいコンセントは使用しないでください。
禁 止	**本製品の上に物を置かないでください。** 金属類や、花瓶・化粧品などの液体が本製品内部に入った場合、火災や感電の原因となります。また、重いものなどが落下した場合、けがの原因となります。
指 示	**本製品を壁に取付けて使用する場合は、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。** 工事が適切におこなわれなかった場合、けがの原因となります。

使用するとき

分解禁止	**本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。** 火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。
禁 止	**電源コード・電源プラグは、** **・傷つけたり、延長などの加工、加熱（発熱する器具に近づけるなど）したりしないでください。** **・無理に引っ張ったり、重いものをのせたり、はさんだりしないでください。** **・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないでください。** 火災や感電の原因となります。
禁 止	**本製品内部に異物を入れないでください。** 通風口などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部に入ると、火災や感電の原因となります。特にお子様にはご注意ください。
禁 止	**雷が鳴り出したら、本体、電源コードには触れないでください。** 感電の原因となります。
指 示	**包装に使用しているビニール袋などでお子様が遊んだりしない様にご注意ください。** かぶったり、飲み込んだりした場合、窒息の恐れがあります。 万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。
指 示	**日常のお手入れ** ときどき電源プラグを点検し、刃や刃の付け根にホコリなどがたまっている場合は、きれいに掃除してください。汚れを放置しておくと感電の原因となります。

⚠ 注意

設置する際

禁 止	**温度の高い場所に本製品を設置しないでください。** 直射日光の当る場所や、暖房器具のそばなど温度の高い場所に本製品を置くと火災の原因になる場合があります。また、キャビネットの変形、破損などによって感電の原因になる場合があります。
禁 止	**湿気・油煙・ホコリの多い場所に本製品を設置しないでください。** 加湿器、調理器具のそばなどやホコリの多い場所に置くと火災や感電の原因となる場合があります。
指 示	**転倒・落下防止処置をおこなってください。** 転倒・落下防止処置をおこなわないと、本体の転倒・落下によってけがなどの危害が大きくなることがあります。
禁 止	**本製品の通気口をふさがないでください。** 本製品を設置する際には、壁から取扱説明書に定められた距離以上離して設置してください。空気の流れが悪いと内部に熱がこもり、火災の原因となる場合があります。
指 示	**移動したり、持ち運んだりする場合には、** **・離れた場所に移動する時には電源プラグ・他の機器との接続線、アンテナ線および転倒防止を外してください。** 外さずに移動するとコード類が傷つき火災・感電の原因となる場合があります。また、転倒などでけがの原因となる恐れがあります。 **・包装箱から出したり、持ち運ぶ際は、無理のない人数でおこなってください。** 無理をすると、けがをする危険があります。また、本体を落としてけがをする危険があります。 **・キャスター付きのテレビ台に設置している場合、移動するときはキャスターの固定を解除して、本体を支えながら、テレビ台を移動してください。** 本体を押して移動したり、本体を支えてなかったりすると、本体が落下してけがの原因となる場合があります。 **・衝撃を与えないように、ていねいに取り扱ってください。** 本体が破損して、けがの原因となる場合があります。

使用するとき

禁 止	**テレビ台を使用するときは、** **・不安定な台を使用しないでください。** **・片寄ったのせ方をしないでください。** **・テレビ台の扉を開いたままで使用しないでください。** 転倒、破損、指をはさむ、引っ掛けるなどでけがの原因となる場合があります。 特にお子様にはご注意ください。
禁 止	**コンセントや配線器具は定格を超える使い方はしないでください。** たこ足配線は、火災・感電の原因となる場合がありますのでしないでください。
禁 止	**電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かないでください。** 電源コードを引っ張って抜くと、電源コード・電源プラグを破損し、火災・感電の原因となる場合があります。必ず、電源プラグを持って抜いてください。
濡れ手禁止	**濡れた手で電源プラグに触らないでください。** 感電の原因となります。
禁 止	**本体やテレビ台にぶら下がったり、上にのったりしないでください。** けがの原因となる場合があります。特にお子様にはご注意ください。
電源プラグを抜く	**旅行などで長期間使用しない時には、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。** 万一故障した場合に火災の原因になります。 本体や、リモコンの電源ボタンを押して画面を消した場合は、本製品への通電は完全に切れていません。完全に電源を切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

禁 止	**ヘッドフォンやイヤフォンを使用するときは、ボリュームを上げすぎないでください。** 耳に刺激を与えるような大きな音量で視聴すると、聴力に悪影響をおよぼす場合があります。
禁 止	**本体の画面を叩いたり衝撃を加えたりしないでください。** 本製品は精密機器ですので、衝撃などを与えると故障、破損の原因となります。また液晶画面のガラスが割れて、けがの原因となる場合があります。もし、ガラスが割れて、内部の液晶（液体）が漏れた場合は液晶には触れないでください。液晶が目に入ったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害をあたえる恐れがあります。万一、目は口に入ったり、皮膚についた場合には、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。衣服などについた場合は、すぐに水で洗い流してください。床や家具などについた場合は、液晶に直接触れないように注意して拭き取ってください。

日常のお手入れ

電源プラグを抜く	**お手入れをするときは電源プラグを抜いてからおこなってください。** 感電の原因となる場合があります。
指 示	**ベンジン・アルコールなどは使わないでください。** キャビネットが変質したり塗料がはげたりすることがあります。 **キャビネットや操作パネルは柔らかい布などで拭いてください。** 拭く前に表面のゴミやホコリを取り除いてから柔らかい布などで軽く拭いてください。堅い布でこすったりするとキズがつく恐れがあります。 **液晶パネルには特殊は表面加工が施されています。** 洗剤や水拭きなどはしないでください。脱脂綿やガーゼなど、または OA 機器清掃用の布などで軽く拭いてください。

使用上のご注意

輝点・滅点について

●画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（滅点）が表れたりしますが、故障ではありません。液晶画面は非常に精密な技術で製造されており、99.99% 以上は正常に機能する画素ですが、技術的な限界でごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素が発生します。

メモリーに保存されるデータに関するご注意

●本製品のメモリーには、各種の機能設定や放送局からのメール、番組購入履歴などが記録されます。
●本製品のメモリーには、放送事業者の要求によりお客様が入力した個人情報や、データ放送のポイントなどが記録される場合があります。
●本製品を廃棄、譲渡などする場合には、上記のメモリーに記録されているデータを消去することを強くおすすめします。
●本製品の不具合・修理など、何らかの原因で、本製品のメモリーに保存されたデータが破損・消滅した場合など、いかなる場合においても記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復は致しません。予めご了承ください。
●何らかの原因でコンテンツが外部録画機器で記録できなかった場合や、外部録画機器で記録されたコンテンツが破損あるいは消去された場合など、いかなる場合においてもコンテンツの補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

長時間ご使用にならないとき

●長時間電源を入れずに使用しないと機能に支障をきたすことがあります、ときどき電源を入れて作動させてください。

B-CAS カードは必要なときだけ抜き差ししてください

●必要以外にカードの抜き差しおこなうと、故障の原因となることがあります。
● B-CAS カードの中には IC が内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れたりしないようにご注意ください。
●本製品にカードを差し込むときは、必ず指定された向きで挿入されるように、十分ご確認ください。

INDEX 目次

本書の読みかた ····· 1
説明のしかたについて ····· 1
アイコンについて ····· 1
安全上のご注意 ····· 2
使用上のご注意 ····· 6
ご使用の前に ····· 9
付属品のご確認 ····· 10
各部の名前と機能 ····· 12
本体操作部（CTV32-C1）····· 12
本体操作部（CTV26-C1）····· 13
本体接続部（CTV32-C1）····· 14
本体接続部（CTV26-C1）····· 15
リモコンのボタンと機能 ····· 16
本製品の準備 ····· 19
本製品の設置のしかた ····· 20
設置の手順 ····· 20
転倒防止策を実施する ····· 21
B-CAS カードを準備する ····· 22
付属のリモコンを準備する ····· 23
アンテナを接続する ····· 24
VHF/UHF アンテナを接続する ····· 24
BS・110 度 CS 共用アンテナを接続する ····· 25
マンションなどの共用アンテナでの接続 ····· 26
LAN（ブロードバンド回線）に接続する ····· 27
他の機器を接続する ····· 28
DVD プレーヤーなどを接続する ····· 28
パソコンを接続する ····· 30
AV アンプなどを接続する ····· 31
ヘッドフォンを接続する ····· 31
電源コードの接続 ····· 32
接続する ····· 32
電源に関するご注意 ····· 32
テレビの基本操作 ····· 33
テレビを見るための準備 ····· 34
デジタル放送を視聴する準備 ····· 34
アナログ放送を視聴する準備 ····· 34
電源と音量 ····· 35
チャンネルを選ぶ ····· 36
デジタル放送を楽しむ ····· 37
共通の操作① ····· 37
共通の操作② ····· 38
接続した機器を使う ····· 39
接続した機器の映像を見る ····· 39
接続した機器を通して音声を聞く ····· 39
設定メニューの使い方 ····· 40
設定メニューの基本的な使い方 ····· 41
設定メニューについて ····· 41
本製品の初期設定をする ····· 42
アンテナ設定 ····· 42
リモコンの詳細設定 ····· 43
ネットワーク設定 ····· 44
設定の初期化 ····· 45
設定メニューで様々な設定をする ····· 46
映像設定 ····· 46
音声設定 ····· 48
機器設定① ····· 50
機器設定② ····· 52
画面調整（PC 接続の設定）····· 54
その他 ····· 55
お問い合わせの前に ····· 56
エラーコード一覧 ····· 57
本製品の主な仕様 ····· 58
CTV26-C1 外形図 ····· 59
CTV32-C1 外形図 ····· 60
保証とアフターサービスについて ····· 61

ご使用の前に

本製品をご利用いただく上での注意事項や付属品の説明など、ご使用になる前に知っておいていただきたい内容を記載しています。

付属品のご確認

箱を開けたら、付属品がそろっているか確かめてください。

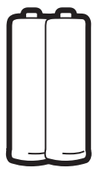
■取扱説明書（本書）

■保証書

■アンテナケーブル× 1

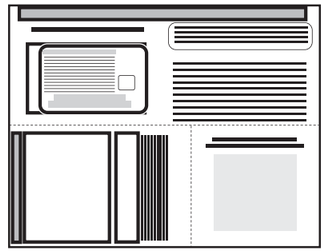
■リモコン× 1

■単 4 乾電池× 2

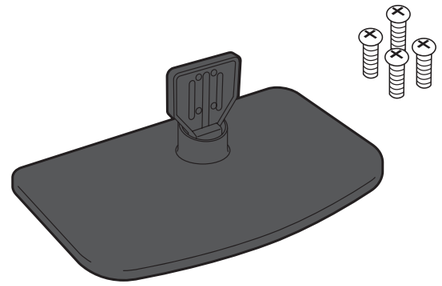


■ B-CAS カード× 1

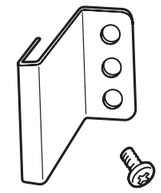
■ B-CAS 用ユーザー登録はがき台紙× 1



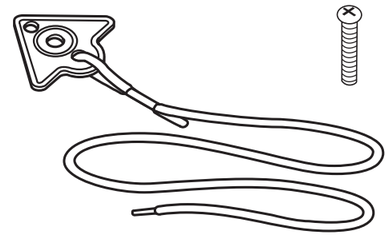
■専用スタンド× 1　スタンド用ネジ× 4



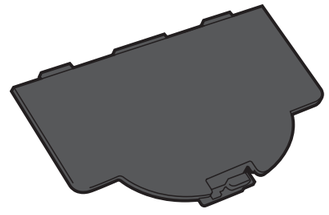
■ B-CAS カード固定用金具× 1
固定用金具のネジ× 1



■転倒防止ひも× 1　転倒防止ひものネジ× 1



■本体底蓋× 1



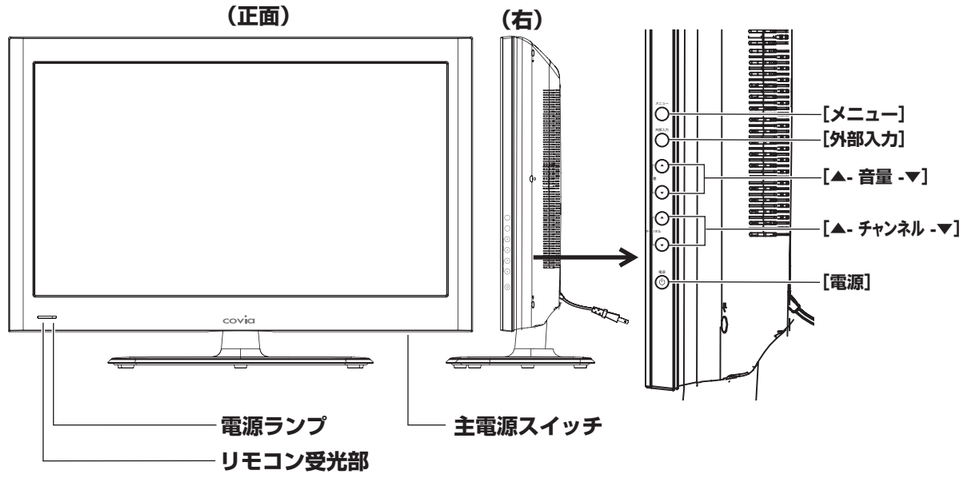
⚠注意

※付属の電池は動作確認用です。できるだけお早めに新しい電池とお取り替えください。

※別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

各部の名前と機能

本体操作部（CTV32-C1）



[主電源スイッチ]
本製品の電源をオン / オフします。

●以下のサイドパネルのボタンは、いずれか一つを押すと青色のランプが点灯し、入力を受け付けるようになります。

[メニュー]
メニュー画面の表示 / 非表示をします。

[外部入力]
本体への入力信号を選択します。画面に選択画面が表示されます。[▲- チャンネル -▼] を押して入力を選択します。

[▲ - 音量 - ▼]
スピーカーまたはヘッドフォンの音量調節をします。
またメニューの調整にも使います。

[▲ - チャンネル - ▼]
チャンネルを順番に切り替えます。
またメニューの項目選択にも使います。

[電源]
待機状態（電源ランプ:赤）と電源オン（電源ランプ:青）を切り替えます。

⚠注意

●待機状態 (電源ランプ : 赤) のときは、電源を切った状態と比較して消費電力が高くなります。旅行などで、本製品を長時間使用されないときは、本製品の主電源スイッチをオフにするか、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■設定メニュー表示中の操作

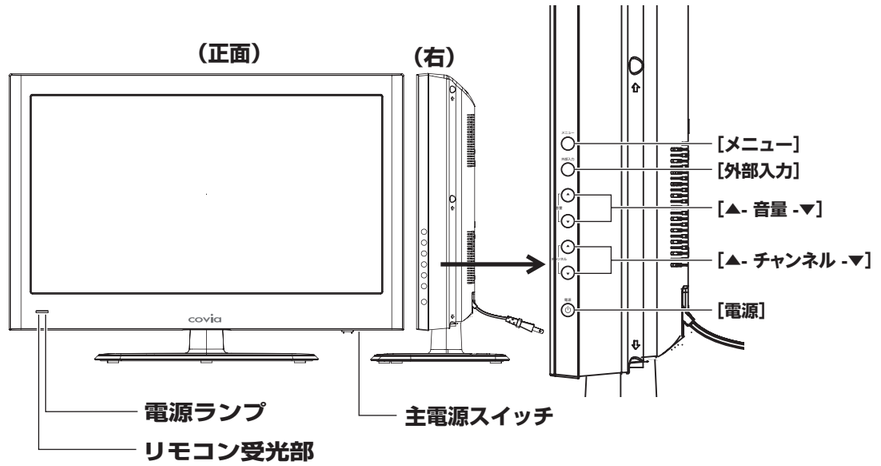
[メニュー]
ひとつ前のメニューに戻ります。

[入力選択]
メニュー項目を選択します。

[▲ - チャンネル - ▼]
上下方向に項目を選びます。

[▲ - 音量 - ▼]
左右方向に項目を選びます。

本体操作部（CTV26-C1）



[主電源スイッチ]
本製品の電源をオン / オフします。

●以下のサイドパネルのボタンは、いずれか一つを押すと青色のランプが点灯し、入力を受け付けるようになります。

[メニュー]
メニュー画面の表示 / 非表示をします。

[外部入力]
本体への入力信号を選択します。画面に選択画面が表示されます。[▲- チャンネル -▼] を押して入力を選択します。

[▲ - 音量 - ▼]
スピーカーまたはヘッドフォンの音量調節をします。
またメニューの調整にも使います。

[▲ - チャンネル - ▼]
チャンネルを順番に切り替えます。
またメニューの項目選択にも使います。

[電源]
待機状態（電源ランプ:赤）と電源オン（電源ランプ:青）を切り替えます。

⚠注意

●待機状態 (電源ランプ : 赤) のときは、電源を切った状態と比較して消費電力が高くなります。旅行などで、本製品を長時間使用されないときは、本製品の主電源スイッチをオフにするか、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■設定メニュー表示中の操作

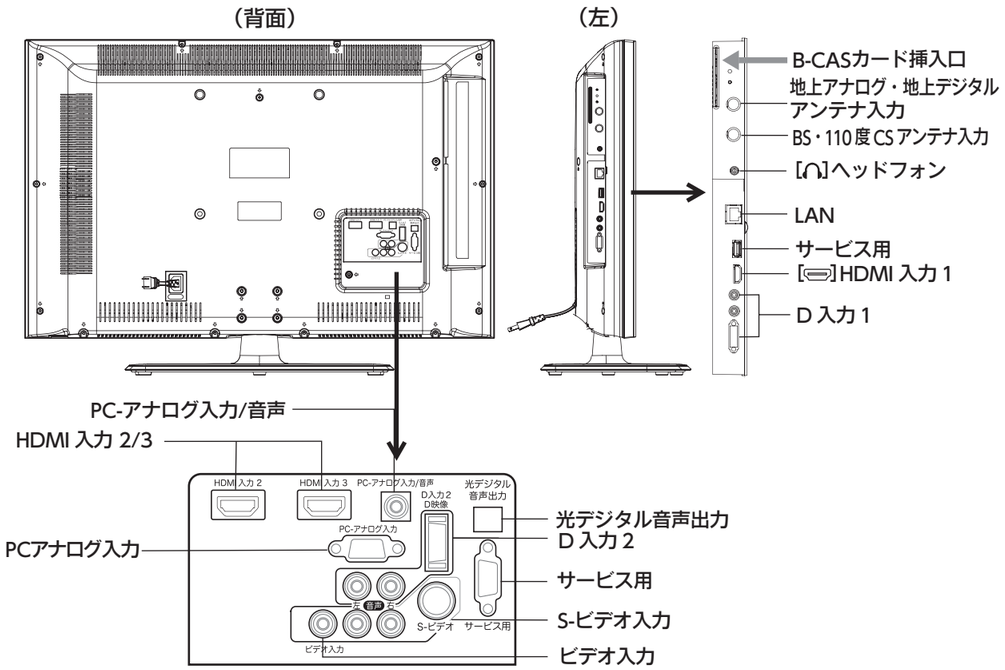
[メニュー]
ひとつ前のメニューに戻ります。

[入力選択]
メニュー項目を選択します。

[▲ - チャンネル - ▼]
上下方向に項目を選びます。

[▲ - 音量 - ▼]
左右方向に項目を選びます。

本体接続部（CTV32-C1）



●左側面

D 入力 1
D ケーブル・音声ケーブルを使用して対応機器を接続します。

HDMI 入力 1
HDMI ケーブルで HDMI 出力のある AV 機器を接続します。

サービス用
サービス対応で使用しますので、お客様はなにも接続しないでください。

LAN
データ放送や双方向通信用にブロードバンドへ接続するためのモデムやルーターを接続します。

ヘッドフォン
ヘッドフォンで音声を聴くときにヘッドフォンのプラグを接続します。ヘッドフォンを使用しているときは内蔵スピーカーの音声は出力されません。

BS・CS110 度アンテナ入力
アンテナケーブルを使用して BS・CS110 度アンテナを接続します。

地上アナログ・デジタルアンテナ入力
アンテナケーブルを使用して、地上アナログ・デジタルアンテナを接続します。

B-CAS カード（挿入口）
B-CAS カードを挿入します。

●背面

HDMI 入力 2/3
HDMI ケーブルで HDMI 出力のある AV 機器を接続します。

PC- アナログ入力 / 音声
音声ケーブル（ミニステレオ）でパソコンを接続します。

D 入力 2
D ケーブル・音声ケーブルで対応機器を接続します。

同軸デジタル音声出力
オーディオ機器で音声を聴くときに接続します。

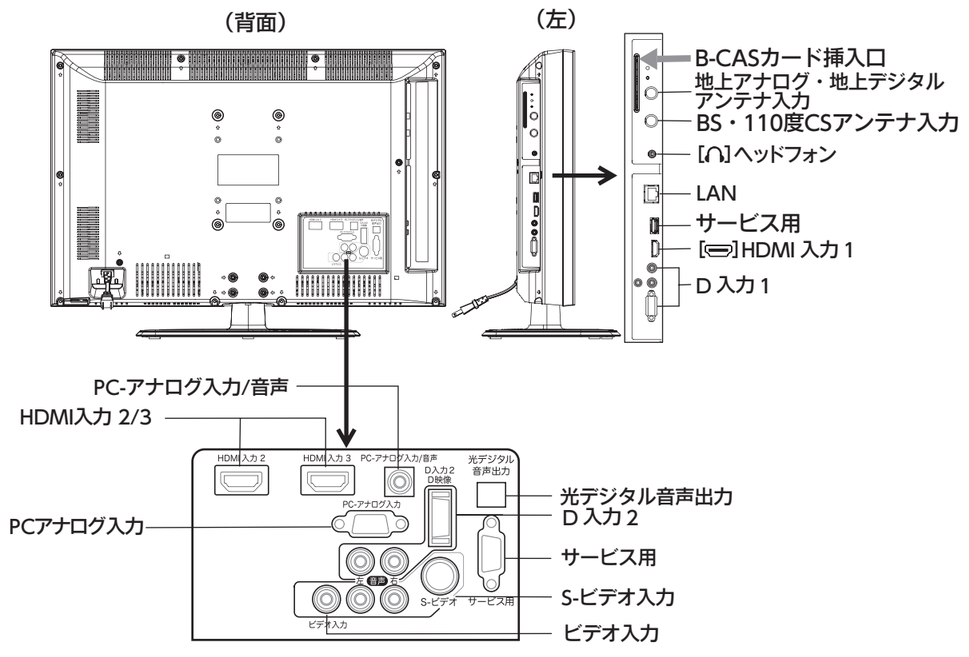
PC- アナログ入力
VGA ケーブルでパソコンを接続します。

ビデオ入力
ビデオケーブルでビデオ機器を接続します。

S- ビデオ入力
S ビデオケーブル・音声ケーブルで対応機器を接続します。

サービス用
サービス対応で使用しますので、お客様はなにも接続しないでください。

本体接続部（CTV26-C1）



●左側面

D 入力 1
D ケーブル・音声ケーブルを使用して対応機器を接続します。

HDMI 入力 1
HDMI ケーブルで HDMI 出力のある AV 機器を接続します。

サービス用
サービス対応で使用しますので、お客様はなにも接続しないでください。

LAN
データ放送や双方向通信用にブロードバンドへ接続するためのモデムやルーターを接続します。

ヘッドフォン
ヘッドフォンで音声を聴くときにヘッドフォンのプラグを接続します。ヘッドフォンを使用しているときは内蔵スピーカーの音声は出力されません。

BS・CS110 度アンテナ入力
アンテナケーブルを使用して BS・CS110 度アンテナを接続します。

地上アナログ・デジタルアンテナ入力
アンテナケーブルを使用して、地上アナログ・デジタルアンテナを接続します。

B-CAS カード（挿入口）
B-CAS カードを挿入します。

●背面

HDMI 入力 2/3
HDMI ケーブルで HDMI 出力のある AV 機器を接続します。

PC- アナログ入力 / 音声
音声ケーブル（ミニステレオ）でパソコンを接続します。

D 入力 2
D ケーブル・音声ケーブルで対応機器を接続します。

同軸デジタル音声出力
オーディオ機器で音声を聴くときに接続します。

PC- アナログ入力
VGA ケーブルでパソコンを接続します。

ビデオ入力
ビデオケーブルでビデオ機器を接続します。

S- ビデオ入力
S ビデオケーブル・音声ケーブルで対応機器を接続します。

サービス用
サービス対応で使用しますので、お客様はなにも接続しないでください。

リモコンのボタンと機能

[電源]
電源待機 / オンを切り替えます。

発光ランプ
信号がリモコンから送られるときに点灯します。

[入力切替]
本体への入力信号の選択します。

[1] - [12]（数字ボタン）
数字入力で使用します。

[番組表]
デジタル放送受信中に番組表を表示します。

[番組情報]
現在視聴しているデジタル放送の番組の詳細情報を表示します。

[番号入力]
デジタル放送・CATV のチャンネルを数字で直接選局する機能です。

[+ 音量 −]
スピーカーまたはヘッドフォンの音量調節をします。

[消音]
音を消します。

[▲ - チャンネル - ▼]
チャンネルを順番に切り替えます。

[メニュー]
メニュー画面の表示 / 非表示をします。

[戻る]
ひとつ前のメニューに戻ります。

[d]
デジタル放送番組に連動したデータ放送表示に切り替えます。

[▲、▼、◀、▶]
メニュー選択時などに上・下・左・右方向に項目を選びます。

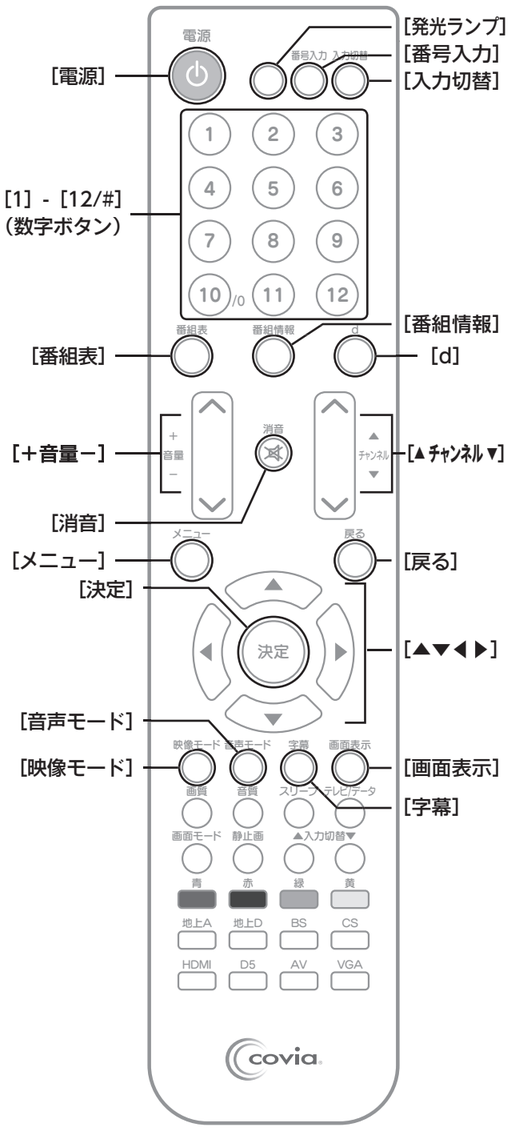
[決定]
メニューで選択した項目を決定します。

[映像モード]
マルチビュー放送の映像切り替えをします。
（本製品は対応していません。）

[音声モード]
番組で選択できる音声モードの切り替えをします。

[画面表示]
受信チャンネルなどの情報を表示します。

[字幕]
デジタル番組で選択できる字幕があるとき切り替えをします。



[画質]
画質を設定します。

[音質]
音質を設定します。

[スリープ]
スリープタイマーを設定します。

[テレビ / データ]
デジタルテレビ放送 / 独立データ放送の切り替えをします。

[画面モード]
映像のアスペクト比（映像の縦と横の長さの比）を切り替えます。

[▲ - 入力切替 - ▼]
本製品への入力信号を順番に切り替えます。

[静止画]
表示映像の一時静止・解除をします。

[青] / [赤] / [緑] / [黄]
デジタル放送中受信中の双方向サービスでの項目選択や、デジタルメニュー中の操作選択をします。

[地上 A]
地上アナログ放送を受信します。

[地上 D]
地上デジタル放送を受信します。

[BS]
BS デジタル放送を受信します。

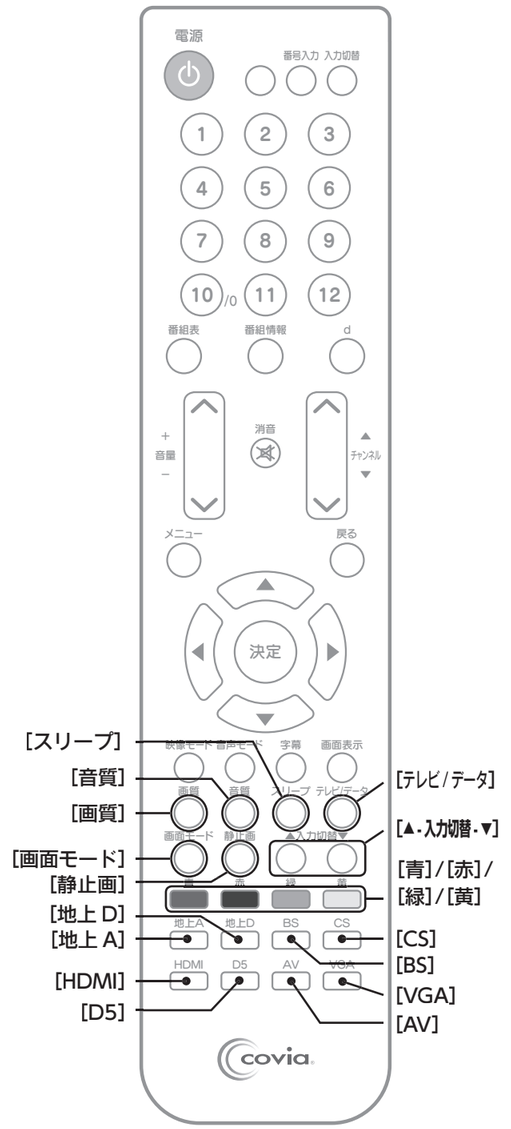
[CS]
110 度 CS デジタル放送を受信します。

[HDMI]
HDMI 入力 1，2，3 を順番に切り替えます。

[D5]
D 入力 1，2 を順番に切り替えます。

[AV]
ビデオ、S- ビデオ入力に切り替えます。

[VGA]
PC- アナログ入力（パソコン入力）に切り替えます。



本製品の準備

本製品や本製品に接続する外部機器の設置および設定方法についてご説明いたします。

⚠注意

- 接続については CTV32-C1 のイラストで説明しています。他のモデルとは端子の位置が異なりますが、接続方法は同じです。
- イラストはわかりやすくするために誇張や省略をしており実際の製品とは異なるところがあります。

本製品の設置のしかた

本製品は重量のある精密機器です。設置をされる前に、安全上のご注意を必ずお読みください。

設置の手順

❶ 置く場所を決める

●直射日光が当たらず、気温が安定している場所を選んでください。
●水平かつ丈夫で、安定して固定できる場所を選んでください。

※直射日光が当る場所や通気の悪い場所は避けて設置してください。

❷ 台座をつける

❶画面表面を傷つけないようにするため、柔らかい布のようなものを敷き、背面が上、画面表面が下になるように本体を置いてください。
❷スタンドを取り出して、本体下部のスタンド取り付け用の溝に挿入してください。スタンドは、本体下部のスタンド取り付け用のネジ穴全ての位置に完全に合うようにいれてください。
❸本体とスタンドを、取り付け用の４本のネジでしっかり固定し、画面が正しく見えるように本体を立ててください。

① 参考

●本製品を壁にかけてご使用になる場合は台座はつけないでください。

⚠注意

●上図を参考にして、実際の部品をよく確認してから作業してください。
●本体を倒す際には衝撃を与えないようにゆっくりとおこなってください。
●本体画面を傷つけないように作業してください。
●全てのネジはしっかりと固定してください。
●必ず２人以上で作業してください。

【壁掛け設置について】

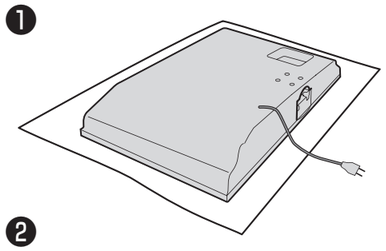
●本体を壁に設置される場合は、床に垂直で堅い厚い壁をお選びいただきお買い上げ店にご相談ください。

お願い

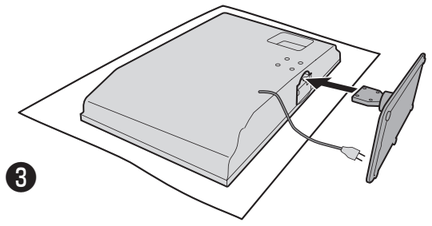
●スタンドを取り外す際も必ず同様な手順で本体をテーブルなどの上に寝かせた状態でおこなってください。

例）CTV32-C1 の場合

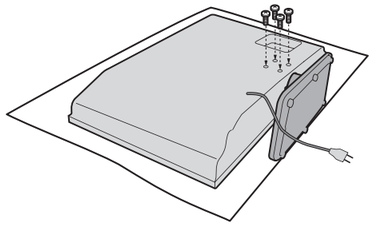
❶



❷



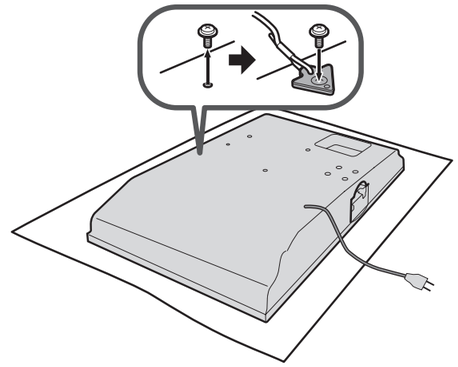
❸



転倒防止策を実施する

❶転倒防止ひもを付ける

❶転倒防止ひもは、本体裏側のネジ穴を一か所使用します。転倒防止ひもを取り付ける位置のネジをはずしてください。
❷転倒防止ひもを、転倒防止ひも用のネジで本体にしっかり取り付けて固定してください。
❸スタンドを取り付けた本体の重量に十分に耐えられる台の上に本体を設置して、壁や柱等のはがれない堅牢な部分に、転倒防止ひもの他端をしっかりと結び付けて固定してください。



⚠注意

●本製品が転倒すると、お客様のけがや本製品の故障につながります。かならず転倒防止策を実施してください。
●上記の方法で本製品の固定ができない場合は、お買い上げ店などにご相談ください。

壁に掛けるとき

本製品を別売りの壁掛け用の金具を使用して壁に掛けることも出来ます。CTV32-C1 は型番 WMK-H2040-32H を、CTV26-C1 は型番 SMT-27LC をお求めください。

① 参考

●付属の本体底蓋を台座取付部分に取り付けてください。

⚠注意

●壁にかけて使用される場合は、かならずお買い上げ店または工事業者にご依頼ください。

B-CAS カードを準備する

B-CAS カードについて

●地上デジタル放送 /BS デジタル放送 /110 度 CS デジタル放送が視聴制限に使用しているのが B-CAS カードです。

●デジタル放送をお楽しみいただくためには、B-CAS カードを本製品に挿入していただくことが必要です。同梱の B-CAS 用ユーザー登録はがきまたは Web によるユーザー登録をお勧めします。（登録は任意で無料です。）

① 参考

●スカイパーフェクト！ 110、WOWOW などの有料サービスをご利用のされる場合は、別途契約が必要です。

● B-CAS カードに関するお問い合わせは、カードの裏面記載の（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンターまでお願いいたします。

B-CAS カードの入れかた

❶本製品の電源を切る

❷同梱の「ビーキャス（B-CAS）カード使用許諾契約約款」の内容を読み、了解していただいた上で、台紙から B-CAS カードをはがす

❸本製品左側面の B-CAS カード挿入口に B-CAS カードを挿入する

❹同梱の B-CAS 用ユーザー登録はがきに記入し、投函する

① 参考

● B-CAS カードには視聴情報などが記憶されますので、本製品に入れたままご使用ください。

● B-CAS カードの盗難等にご注意ください。他人がお客様のカードを使用して有料番組を視聴した場合も、視聴料はお客様の口座に請求されます。

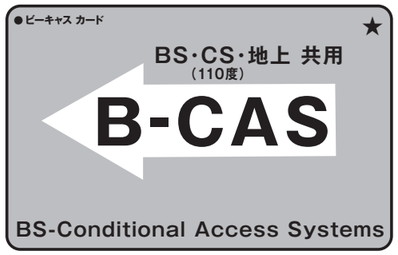
● B-CAS カードは（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズから貸与されているものです。本製品を廃棄なさる場合は同社にご返却ください。また本製品を他の人に譲渡なさる場合は、新しい所有者の名義に変更してください。

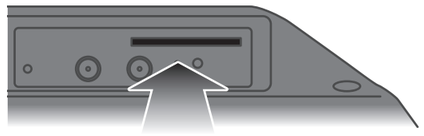
取扱い上のご注意

● B-CAS カードを折り曲げたり、傷つけたりしないでください。破損等による B-CAS カードの再発行は有料です。

● B-CAS カードの金属部（集積回路）には触れないでください。

● B-CAS カードの抜き差しは、必要な場合を除いておこなわないようにしてください。





CTV32-C1 の カードの　れかた

CTV26-C1 の カードの　れかた

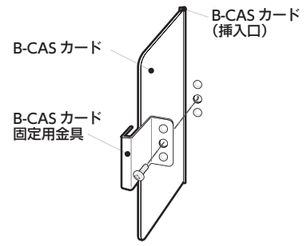
⚠注意　TV32-C1 と CTV26-C1 で B-CAS カードのいれる向きが入いますのでご注意ください。

付属の B-CAS カード固定具について

付属の B-CAS カード固定具は、店頭展示や公共の場所などでご利用される場合の盗難防止用具です。ご家庭などでご利用いただく場合は必要ありません。

【取り付け方法】

B-CAS カード固定具をねじ止めしてください。



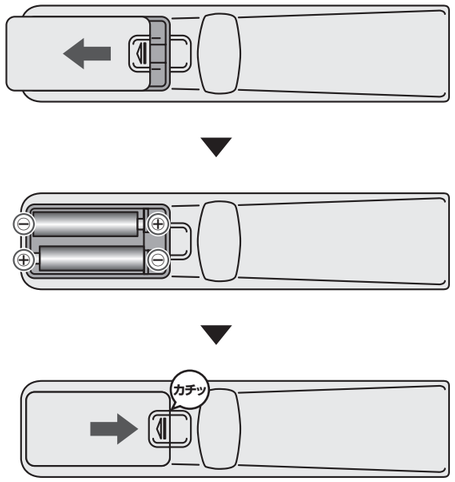
付属のリモコンを準備する

電池の入れ方

❶リモコン背面の電池カバーをはずします。
カバー上部の▼部分を下方向に押しながらすくい上げてください。

❷乾電池を取り付けます。
極性表示（＋と－）に合わせて乾電池を正しい向きにいれてください。

❸電池カバーを閉めてください。
カバーの突起をリモコン本体の溝に差し込んで、カチッっと音がするまでカバー上部を押し込んでください。



⚠注意

●指定以外の乾電池は使用しないでください。

●極性表示（⊕と⊖）を間違えて挿入しないでください。

●付属の乾電池を充電・加熱・分解したり、ショートさせたりしないでください。

●乾電池を火や直射日光などの過激な熱にさらさないでください。

●表示されている「使用推奨期限」を過ぎた乾電池や、使い切った乾電池はリモコンに入れておかないでください。

●種類の違う乾電池や新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。

① 参考

●付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。

●リモコンを長く使わないときは電池を取り出しておいてください。

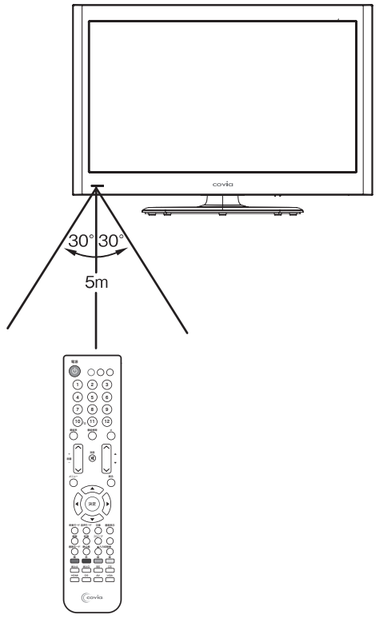
●乾電池を廃棄するときはお住まいの自治体で定める廃棄方法に従ってください。

操作のしかた

本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

●リモコンは、本体のリモコン受光部に向けて使用してください。

●リモコンを使用できる角度は、本体から約 5m の位置で上下左右約 30°です。



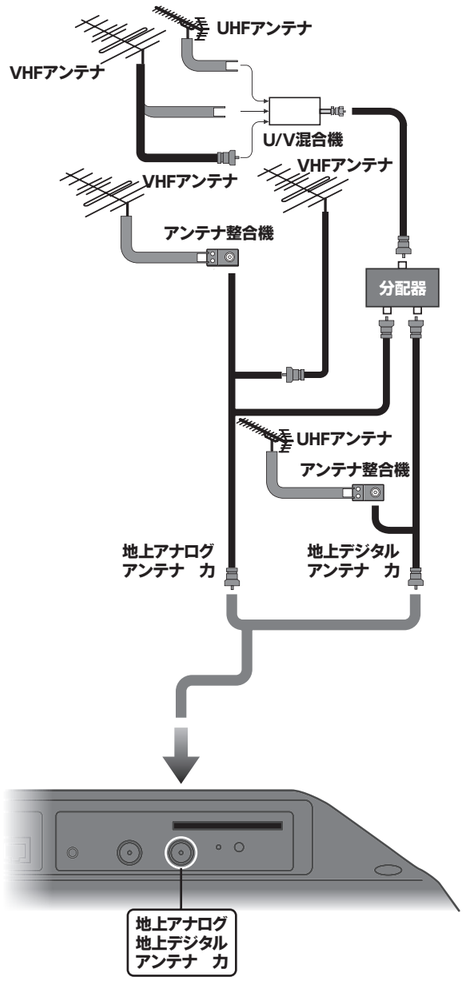
アンテナを接続する

⚠注意

- **アンテナの取り付け・配線は、必ず専門業者にご依頼ください。**
- **ケーブルテレビをご利用の場合、ケーブル会社からの送信方式によって接続が異なります。詳しくは、視聴契約をしているケーブルテレビ会社にご確認ください。**

VHF/UHF アンテナを接続する

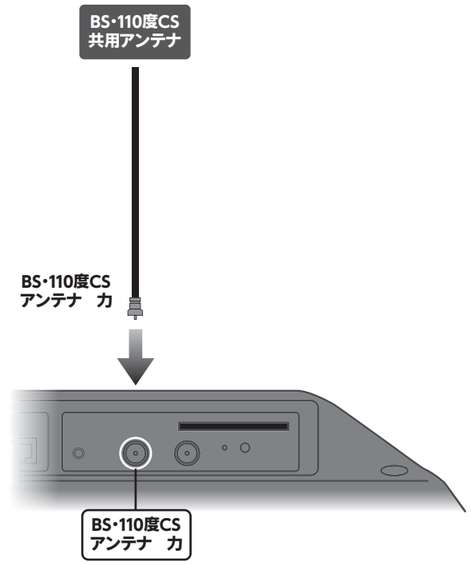
- 地上デジタル放送の受信には、UHF アンテナを使用します。ご使用中の地上アナログ放送と地上デジタル放送が同じ送信所から送られている場合は基本的に現在ご使用中のアンテナをそのままご使用いただくことできますが、場合によっては角度などの調整やブースターを追加する必要があります。詳しくは販売店などにお問い合わせください。
- 現在地上アナログ放送を受信していない場合や、地上アナログ放送と地上デジタル放送が異なった送信所から送られている場合は、新たに UHF アンテナを設置してください。この場合は地上デジタル放送専用のアンテナ設置をお勧めします。また、アナログ放送用のアンテナ線と地上デジタル放送用のアンテナ線を市販の混合器を使って信号を混合して接続してください。
- VHF のアンテナ線と UHF のアンテナ線が別々のアンテナ線から受信している場合は、市販の U/V 混合器で信号を混合して接続してください。
- アンテナ線を本製品のアンテナ入力端子に接続するときは、同梱のアンテナケーブルを使用してください。
- ご自宅のアンテナ線がフィーダー線を使用している場合は、円筒形の同軸ケーブルに変換する必要があります。市販のアンテナ整合器をお使いください。
- アンテナ設定メニュー（➡ 42 ページ）を使用して受信レベルが最大にならない場合は、アンテナの方向を調整してください。ご使用になる地域・地形によって受信レベルは異なりますが、視聴できる受信レベルの目安は 50 以上です。アンテナの方向を調整しても受信レベルが上がらない場合は、市販のブースターを設置することをお勧めします。



BS・110 度 CS 共用アンテナを接続する

単独での接続

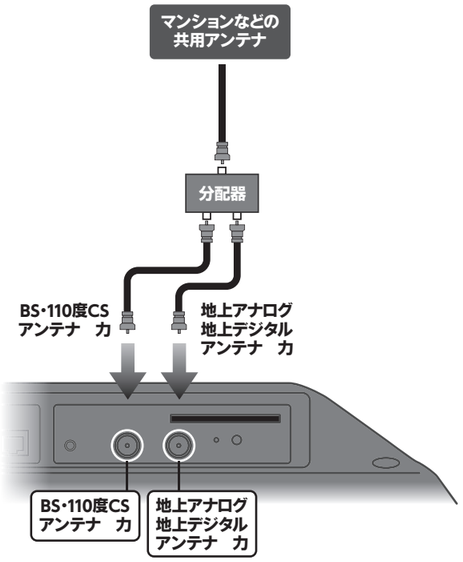
- アンテナは BS・110 度 CS 共用アンテナを使用し、アンテナ線 / ブースター / 分配器等は、110 度 CS 帯域（2150MHz）まで対応しているものをご使用ください。その他のものを使用した場合には映像が映らないことがあります。これまでご使用になっていた BS アンテナでも、BS デジタル放送を受信できますが、110 度 CS デジタル放送を一緒に受信するには BS・110 度 CS 共用アンテナが必要です。
- スカイパーフェクト TV! 用のアンテナでは 110 度 CS デジタル放送は受信することはできません。
- BS・110 度 CS 共用アンテナの設置については、ご使用のアンテナの取扱説明書をご覧ください。
- BS・110 度 CS デジタルアンテナ入力端子に VHF/UHF のアンテナ線を接続しないでください。故障の原因となります。
  本製品に付属の BS・110 度 CS アンテナケーブルを使用して、BS・110 度 CS アンテナを本製品の BS・110 度 CS デジタルアンテナ入力端子に接続してください。
- アンテナ設定メニュー（➡ 42 ページ）を使用して受信レベルが最大にならない場合は、アンテナの方向を調整してください。視聴できる受信レベルの目安は 50 以上です。
- アンテナ電源の設定を「オン」に設定してください。（➡ 42 ページ）
- 市販の家庭用分配器を使って複数の BS 機器を接続する場合は、必ずどの端子からも電源を供給するタイプをご使用ください。この場合、本製品か他の BS 機器のどちらかのアンテナ電源のみを「オン」に設定してください。
  両方とも「オン」に設定すると故障の原因となります。また、本製品の電源を待機状態・オフ状態にした時はアンテナ電源には電源は供給されません。他の BS 機器を本製品がオフまたはスタンバイの時に使う場合には、使用する BS 機器より電源を供給するようにしてください。



マンションなどの共用アンテナでの接続

マンションなどの集合住宅では、地上デジタルや BS・110 度 CS デジタルを受信対応していても、各部屋への配線は一本のアンテナ線に混在して設置されている場合があります。
このように BS・110 度 CS と VHF/UHF が混在されている場合は、市販の BS/UV 分波器を使用して、アンテナ線を分波してから本製品に接続します。分波器は 110 度 CS 帯域（2150MHz）まで対応している金属シールドタイプをお選びください。

●アンテナ電源の設定を「オフ」に設定してください。
（➡ 42 ページ）



LAN（ブロードバンド回線）に接続する

デジタル放送では、ブロードバンド回線でインターネットに接続して、データ放送の双方向サービスを利用することが出来ます。

① 参入

双方向サービスを利用すると、本製品からテレビ局に向けて情報を送れます。視聴者参加型の番組に参加して楽しむことができます。例えばクイズ番組の回答を送ったりすることが出来ます。このサービスをご利用しない場合、LAN 接続は必要ありません。

本製品をブロードバンド回線に接続するには、別途、インターネット接続を提供する回線業者やプロバイダーへの加入契約が必要です。本書では、パソコンによるインターネット接続などで、すでにインターネット接続環境が整っていることを前提に説明いたします。

インターネット接続環境がなく、これから加入契約をする場合には、サービスを提供する回線業者やプロバイダーにご相談ください

- **回線業者やプロバイダーによっては、本製品とパソコンを何台も接続できない場合や、接続に当たって追加料金が必要な場合があります。回線業者やプロバイダーにご相談ください。**
- **接続に必要な FTTH 回線終端装置、ケーブルモデム、ADSL モデム、ブロードバンドルーター、ハブ、スプリッターなどは、回線業者やプロバイダーの指定された製品をお使いください。**
- **回線業者やプロバイダーから提供される説明書をよくお読みのうえ、インターネット接続に関する不明な点は回線業者やプロバイダーにお問い合わせください。**
- **USB 接続の ADSL モデムをお使いのときは、回線業者やプロバイダーにご相談ください。**
- **お使いの FTTH 回線終端装置、ケーブルモデム、または ADSL モデムにルーター機能がある場合は、市販の LAN ケーブルを使ってモデムポートの一つと本製品の LAN 端子を接続してください。モデムポートに空きがない場合は回線業者やプロバイダー指定のハブを使用して接続してください。**
- **お使いの FTTH 回線終端装置、ケーブルモデム、または ADSL モデムにルーター機能がない場合は、回線業者やプロバイダー指定のルーターを使用して接続してください。**
- **初期設定の「ネットワーク設定」をおこなってください。（➡ 44 ページ）**

他の機器を接続する

本製品では、他の機器を接続して映像や音声を楽しんだり、本製品で受信した番組を他の機器に録画して楽しむことができます。

⚠注意

- **機器の接続は、本製品や接続する機器の電源を切ってからおこなってください。**
- **接続ケーブルの抜き差しは、ケーブルでなくプラグを持ってしっかりとおこなってください。**
- **映像や音声にノイズが出る場合には、機器間に十分な距離がとれるように配置してください。**
- **接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。**

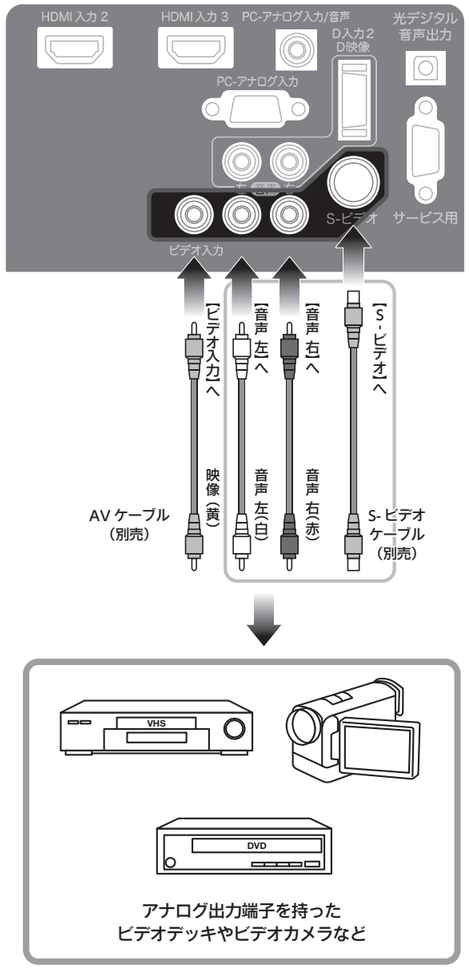
DVD プレーヤーなどを接続する

ビデオ入力端子に接続する

黄、赤、白の AV ケーブル（別売）でビデオデッキなどの AV 出力端子と、本製品のビデオ入力端子を接続します。プラグと端子の色をそれぞれ合わせて接続してください。

S- ビデオ入力端子に接続する

S ビデオケーブル（別売）を使用して S- ビデオ入力端子に接続することもできます。S ビデオの方がビデオ入力端子での接続より良い画質が得られます。音声については、ビデオ入力端子を使用する場合と同じく AV ケーブル（赤、白）で接続してください。



D 入力端子に接続する

D ケーブル（別売）を使用して、D 端子出力のある機器と D 入力 1（サイドパネル）または D 入力 2 端子（裏パネル）を接続します。音声は AV ケーブルで D 端子用の音声入力端子に接続します。

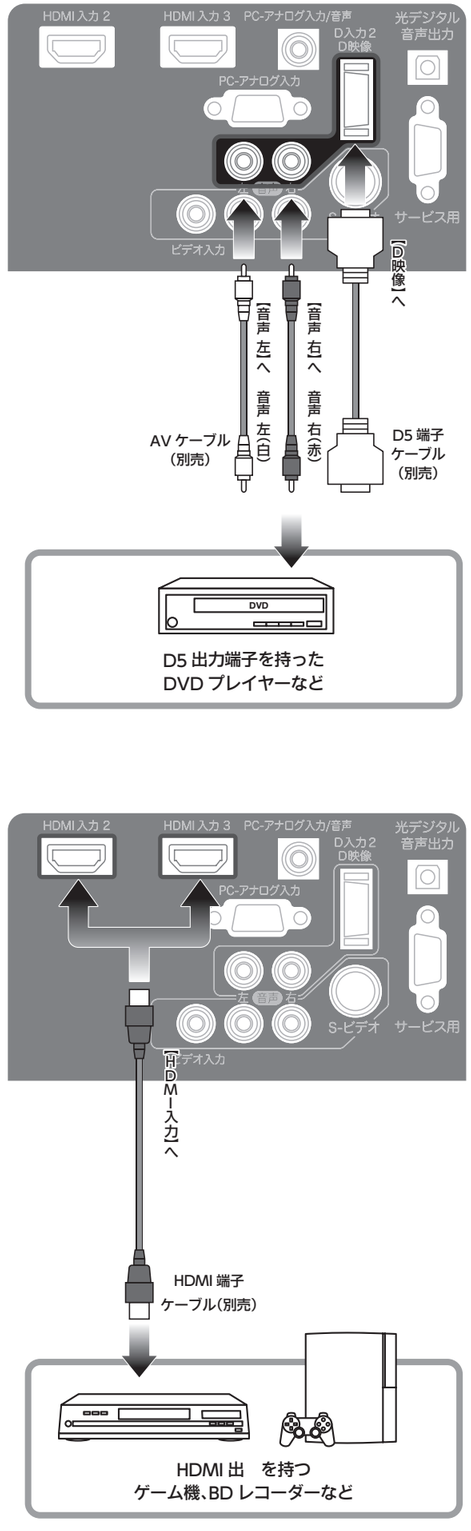
①参入

- **本製品の D 入力端子は D5 規格です。本製品は D 端子規格の（D1、D2、D3、D4 および D5）入力信号を自動的に判別して表示します。**

D 端子の種類と対応信号フォーマット

	525i (480i)	525p (480p)	1125i (1080i)	750p (720p)	1125p (1080p)
D1	○	×	×	×	×
D2	○	○	×	×	×
D3	○	○	○	×	×
D4	○	○	○	○	×
D5	○	○	○	○	○

- **カッコ内の数字は有効走査線数です。機器によってはこちらの数字を表示している場合があります。**
- **接続機器によっては、出力設定を D 端子にしなければ信号を出力しないものがあります。正しく接続しても映像が表示されない場合は、接続する機器の取扱説明書も合わせてご確認ください。**



HDMI 端子に接続する

HDMI ケーブル（別売）を使用して、ハードディスクレコーダーやデジタルチューナーなどの HDMI 出力と本製品の HDMI 入力 1（サイドパネル）入力 2/3（裏パネル）のいずれかと接続してください。
HDMI 接続はデジタル信号で映像と音声を 1 本のケーブルで入力できます。

①参入

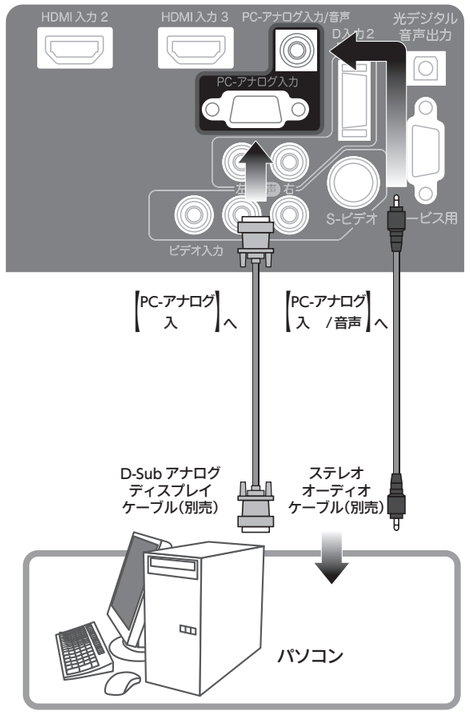
- **DVI 出力のある機器の場合、DVI-HDMI 変換ケーブルを使うことで接続することができます。DVI 出力は映像のみとなりますので、接続する機器の音声出力を、本製品の D 端子用の音声入力端子にミニステレオ音声ケーブル（別売）を使用して接続してください。（DVI-HDMI 変換ケーブルを使用しての接続は保証しておりません。）**
- **映像、音声が表示、出力されない場合は、接続する機器の取扱説明書も合わせてご確認ください。**

パソコンを接続する

VGA ケーブル（別売）を使用して、パソコンの VGA 出力と、本製品の PC- アナログ入力を接続します。音声は、音声ケーブル（ミニステレオ）を PC- アナログ入力 / 音声に接続してください。対応フォーマットは以下の通りです。

- 640 × 480 @ 60/75Hz
- 720 × 400 @ 70Hz
- 800 × 600 @ 60/72/75Hz
- 1024 × 768 @ 60/75Hz
- 1360 × 768 @ 60Hz（ドットバイドット表示）
- 1920 × 1080 @ 60Hz

本製品でパソコンの画面を表示するには、パソコン側で外部出力の設定が必要です。詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。



⚠注意

- **Windows2000/XP/Vista 以外の PC での動作は検証しておりませんので、それ以外の PC での動作は保証いたしません。また、PC 側のビデオカードなどによっては、上記のフォーマットでも表示できない場合があります。**

AV アンプなどを接続する

光デジタル音声出力

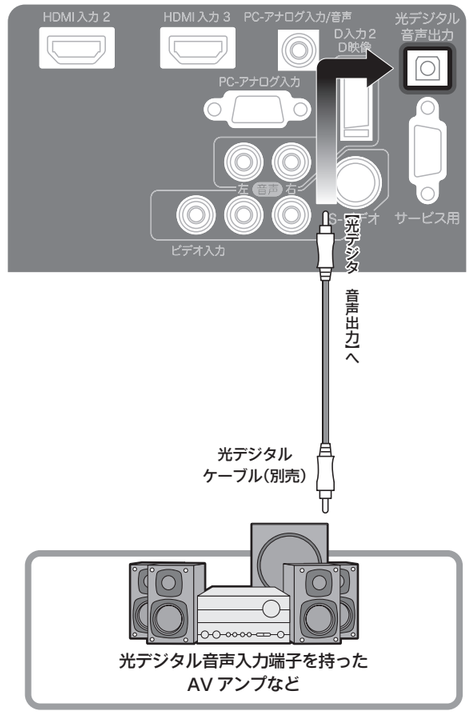
光デジタルケーブル（別売）を使用して、AV アンプなどの光デジタル音声入力と、本製品の光デジタル音声出力を接続します。
ホームシアターシステムなどと接続して 5.1ch の臨場感のある高音質な音声を楽しむことができます。
本製品では接続する機器に応じてデジタル音声出力の設定を以下の二つから選ぶことができます。(➡49 ページ)

●オート
デジタル放送（地上、BS、CS）受信時には AAC で、HDMI 入力端子からの音声は PCM で出力します。
AAC 対応の AV アンプなどをつないでいるときに選択してください。

● PCM
AAC に対応していない AV アンプなどをつないでいるときに選択してください。音声が PCM（2ch）の音声に変換されて出力されます。

①参入

●この端子からはデジタル放送（地上、ＢＳ、ＣＳ）受信時と HDMI 入力端子からの音声が出力されます。



ヘッドフォンを接続する

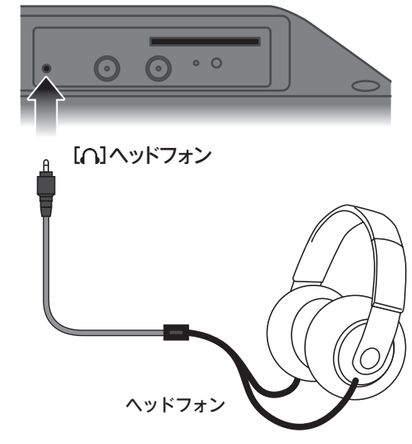
市販のヘッドフォンを、本製品のヘッドフォン端子に接続します。

①参入

●ヘッドフォンを接続すると、本製品のスピーカーからは音声が出力されません。

⚠注意

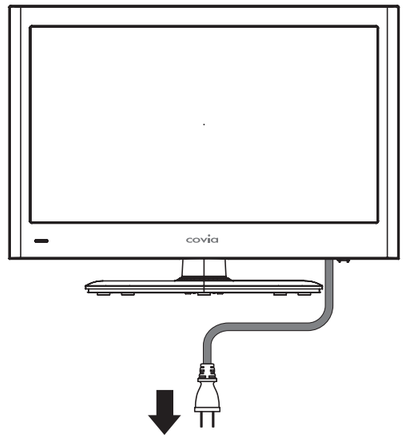
●ヘッドフォンを使用されるときは、適度な音量で、耳を必要以上に刺激しないようにお楽しみください。過度な音量で長時間続けて聞くと、聴覚に悪い影響を及ぼすことがあります。視聴中に耳鳴りがするような場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。また、ヘッドフォンをつけたまま眠ってしまうと、災害時などに避難が遅れてしまうなどの危険があります。呼びかけられた声が聞こえるくらいの音量でお聞きください。



電源コードの接続

接続する

全ての接続が済んだら、電源コードのプラグをコンセントに挿入して電源を入れてください。



電源に関するご注意

●電源コードは必ず最後に接続してください。

●本製品の電源プラグは、抜き差しがしやすい位置で壁のコンセントに直接差すようにしてください。

●接続後は、電源プラグをコンセントに差したままご使用ください。

●使用中に電源プラグを抜いたり、電源を突然遮断しないようにしてください。設定が消えたり、故障の原因となる場合があります。

テレビの基本操作

テレビを視聴するための本製品の基本的な使いかたについて説明しています。

テレビを見るための準備

⚠注意

●本製品を初めてご利用される場合は、下記の設定をおこなってください。設定を行わないと、テレビ放送を正常に受信できないため、視聴できるはずの番組が視聴できなくなります。

デジタル放送を視聴する準備

❶ 本製品を準備する

デジタル放送を受信するには、以下の準備が必要です。詳しくは、本書の「本製品の準備」（➡ 19 ページ）をご覧ください。

❶専用のアンテナを接続する
❷ B-CAS カードの準備をする
❸必要に応じて放送会社と契約する

❷ 本製品の設定をおこなう

本製品を初めてご利用される場合や、お客様の居住地域が変わった場合は、初期設定をおこなう必要があります。左記の条件を整えた後、設定メニューで「地域・郵便番号の設定」でお住まいの都道府県と郵便番号を設定し、「地上・BS・110 度 CS デジタル自動設定」（➡ 42 ページ）の設定をおこなってください。

アナログ放送を視聴する準備

❶ 本製品を準備する

アナログ放送を受信するには、以下の準備が必要です。詳しくは、本書の「本製品の準備」（➡ 19 ページ）をご覧ください。

❶専用のアンテナを接続する

❷ 本製品の設定をおこなう

本製品を初めてご利用される場合や、お客様の居住地域が変わった場合は、初期設定をおこなう必要があります。設定メニューの「地上アナログ自動設定」をおこなってください。（➡ 42 ページ）。

電源と音量

電源を入れる / 切る

❶本体の主電源スイッチを入れる
❷**【電源】**を押す

ⓘ参入

●本製品は【電源】ボタンで待機状態にしただけでは完全に電源から切り離されておらず、常に微弱な電流が流れています。旅行などで本製品を長時間使用されないときは、本体の主電源スイッチをオフにしてください。ただし、デジタル放送の番組情報は放送電波の中に入って送られてきますので、主電源スイッチを切っている場合は番組情報は取得できません。

音量を調節する

【＋音量ー】を押す

一時的に音を消す

【消音】を押す

もとに戻すには

- **【消音】**を再度押す
- **【＋音量ー】**を押す

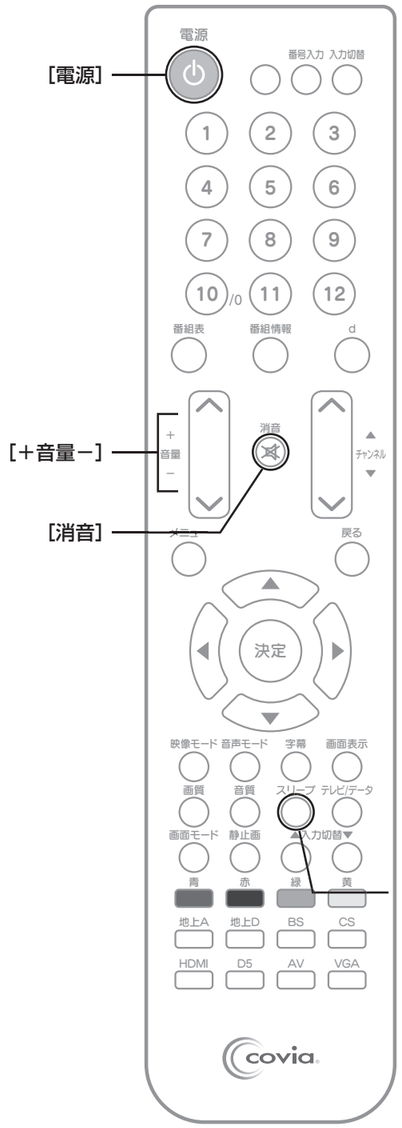
スリープタイマー

本製品の電源を切るまでの時間を設定します。

【スリープ】を押す

●設定範囲

オフ、30 分、60 分、90 分、120 分



チャンネルを選ぶ

入力を切り替える

❶【地上 A】/【地上 D】/【BS】/【CS】を押す、または【入力切替】を押して放送の種類を選ぶ

チャンネル番号で選局する

❶お好みのチャンネルのチャンネル番号を数字ボタンで入力する

放送局番号で選局する（ケーブルテレビまたはデジタル放送）

❶【番号入力】を押す

❷お好みの放送局の放送局番号を【1】から【10】までの数字ボタンで入力する

●【10】は「0（ゼロ）」として使用します。

選局ボタンで選局する

❶【▲ チャンネル ▼】を押して選局する

音声を切り替える

スピーカーから出力する音声を切り替えます。

❶［音声切替］を押す

複数の音声があるときにこれを切り替えます。

画面モードを切り替える

映像の縦横比を切り替えます

❶［画面モード］を押す

押すごとに、入力の種類ごとに設定されている画面モードの選択肢の中で切り換わります。

① 参入

●入力シグナルが 1080i の場合は「フル」以外の選択はできません。

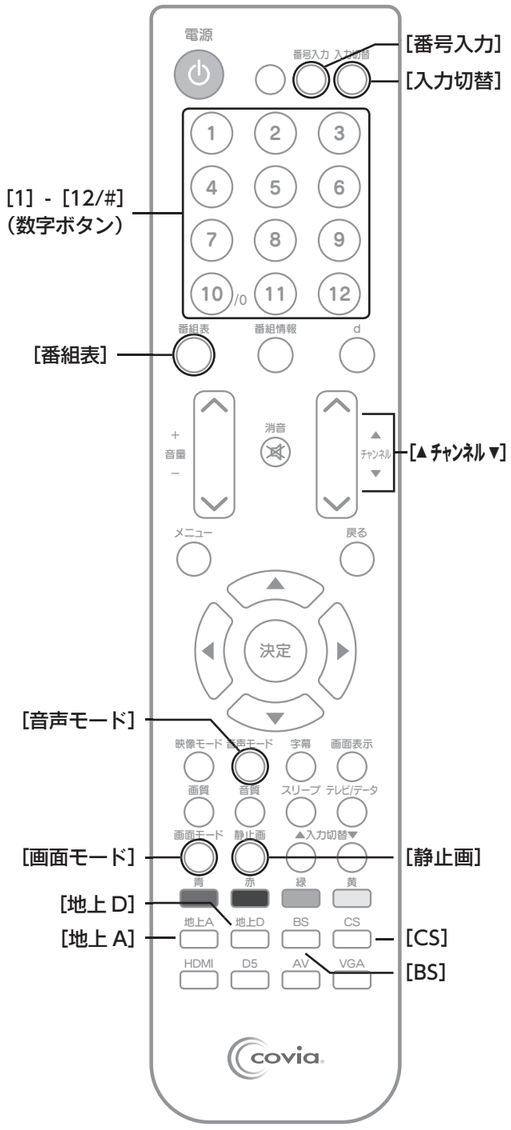
●入力信号を確認するには［番組内容］を押します

映像を静止させる

視聴中の画面の静止 / 再始動をします。

❶[静止画] を押す

●もう一度押すともとに戻ります。



デジタル放送を楽しむ

共通の操作①

チャンネル情報を表示する

チャンネル情報を表示させます。

❶【画面表示】を押す

●もう一度【画面表示】を押すと、表示が消えます。

字幕を切り替える

本製品に出力する字幕の言語を切り替えます。

❶【字幕】を押す

字幕データ付きの放送受信時に、オフ、第一字幕言語、第二字幕言語の中で切り替わります。

データ放送を受信する

❶［d］を押す

① 参入

●データ放送をおこなっているチャンネルでのみ有効です。

●【▲▼◀▶】でデータ放送画面上の項目を選択することができます。

●データ放送画面からさらに別の画面へ移行することができます。画面上に［青］［赤］［緑］［黄］それぞれでどの情報（天気予報、ニュース、、、、）へ移行するのかが表示されます。

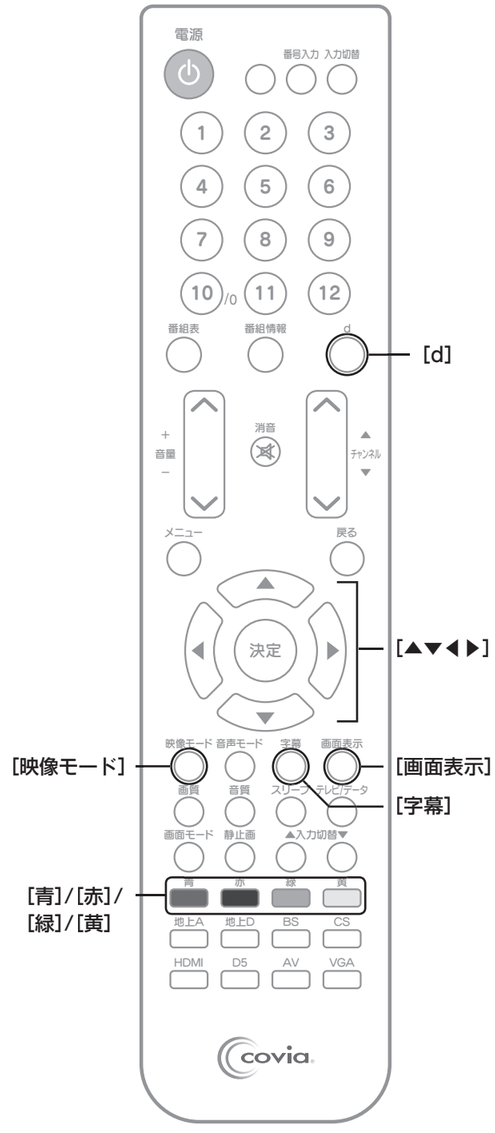
双方向通信をおこなう

LAN 接続をしていて、双方向通信がおこなわれているチャンネルを受信しますと、双方向通信の画面が表示されます。

【▲▼◀▶】で画面を切り替えたり、番組によっては【青】【赤】【緑】【黄】で、放送局へデータ（人気投票、クイズの回答、等等）を送信することができます。画面に表示される指示に従ってください。

① 参入

［映像切替］はマルチビュー放送のためのボタンで、本製品は対応してません。



デジタル放送を楽しむ

共通の操作②

電子番組表を表示する

電子番組表（EPG）を表示します。

❶【番組表】を押す

【▲▼◀▶】を押して番組を選択し、【決定】を押すと番組情報（次項をご覧ください）を表示します。

【青】を押すと一画面で 6 チャンネル表示・3 チャンネル表示を切り替えます。

【緑】を押すと、翌日の番組を表示します。続けて押すと一週間先の番組まで表示させることができます。一日前の番組表に戻すには【赤】を押します。

【黄】を押すと番組がジャンル別の検索用メニューが開きます。

【▲▼】を押して放送の種別（地上デジタル・BS デジタル 110 度・CS デジタル）選択して【決定】を押す

【▲▼】を押してご希望の日を選択して【決定】を押す

【▲▼】を押して大分類を選択して【決定】を押す

【▲▼】を押して中分類を選択して【決定】を押す

「検索開始」を選択して【決定】を押す

① 参入

放送時間が短い番組は番組表中に表示されませんが、カーソルを当該時刻に合わせると表示されます。

番組情報を表示する

選択中の番組の情報を表示します。

❶【番組情報】を押す

チャンネル番号・放送局名・放送時間・ジャンル種別・音声情報・映像情報などが表示されます。

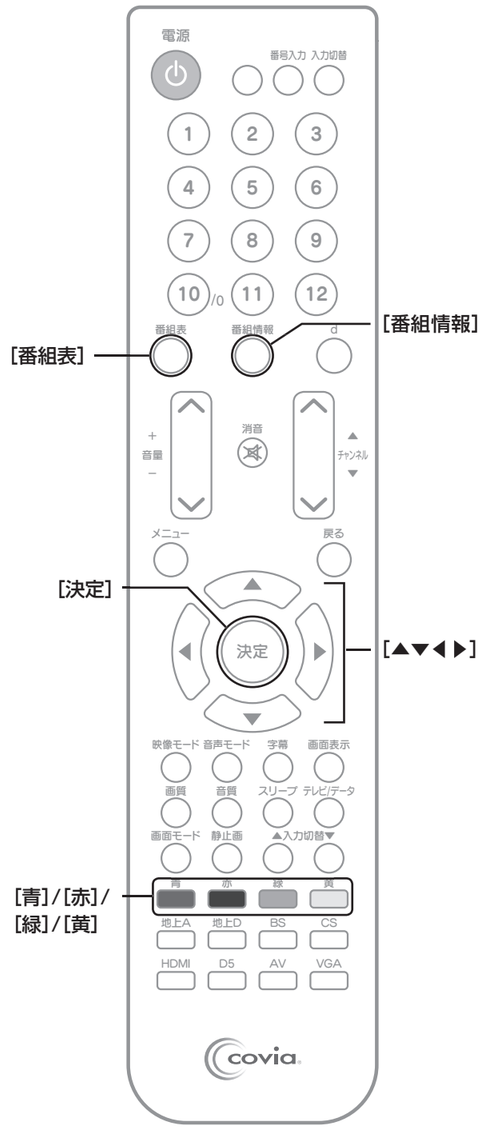
もう一度【番組情報】を押すと、表示が消えます。

現在放送中の番組ですと、【黄】を押してその番組を選局できます。

これから放送される番組ですと、【黄】を押して視聴予約ができます。

① 参入

視聴予約をすると、番組表表示中に予約された番組名の冒頭に赤い丸が、左側時刻表示部分に赤いバーが表示されます。



接続した機器を使う

接続した機器の映像を見る

❶ 接続を確認する

28 ～ 31 ページをご覧いただき、接続を確認してください。

❷ 入力を切り替える

❶【入力切替】を押す

❷【入力切替】を引き続き押すか、【▲・▼】を押して、希望する入力を選び、【決定】を押す

または

地上アナログ TV：【地上 A】を押す

地上デジタル：【地上 D】を押す

BS デジタル：【BS】を押す

CS1 デジタル：【CS】を押す

CS2 デジタル：【CS】を 2 度押す

ビデオ入力：【AV】を押す

D 入力 1：【D5】を押す

D 入力 2：【D5】を 2 度押す

PC- アナログ入力：【VGA】を押す

HDMI 入力 1：【HDMI】を押す

HDMI 入力 2：【HDMI】を 2 度押す

HDMI 入力 3：【HDMI】を 3 度押す

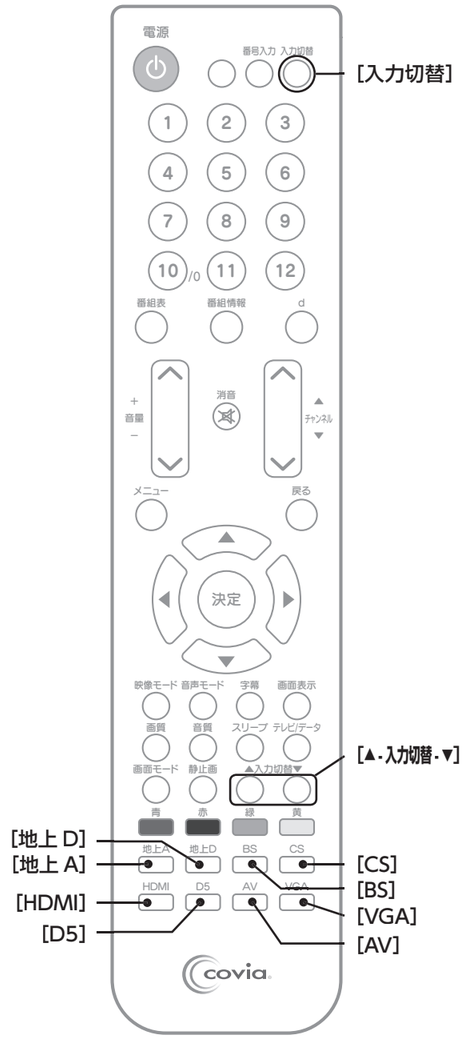
または【▲ 入力切替 ▼】を押して順送りに選択する。

① 参入

アナログ TV を選択中に（上向き矢印）を押した場合、また HDMI3 を選択中に（下向き矢印）を押した場合は変更しません。

❸ 接続した機器を再生する

接続した機器の取扱説明書をご覧いただき、機器を再生してください。



接続した機器を通して音声を聞く

本製品のデジタル放送の音声をお手持ちの AV アンプなどを使用して高音質でお楽しみいただけます。31 ページをご覧いただき、接続を確認してください。

❶ AV アンプを本製品接続端子からの入力に設定する

❷【消音】を押して本製品を消音に設定する

設定メニューの使い方

本製品の設定メニューを使用して、テレビの設定を変更する使い方について説明しています。

設定メニューの基本的な使い方

設定メニューについて

本製品をご使用いただく上での基本的な設定は、設定メニューを使って設定できます。

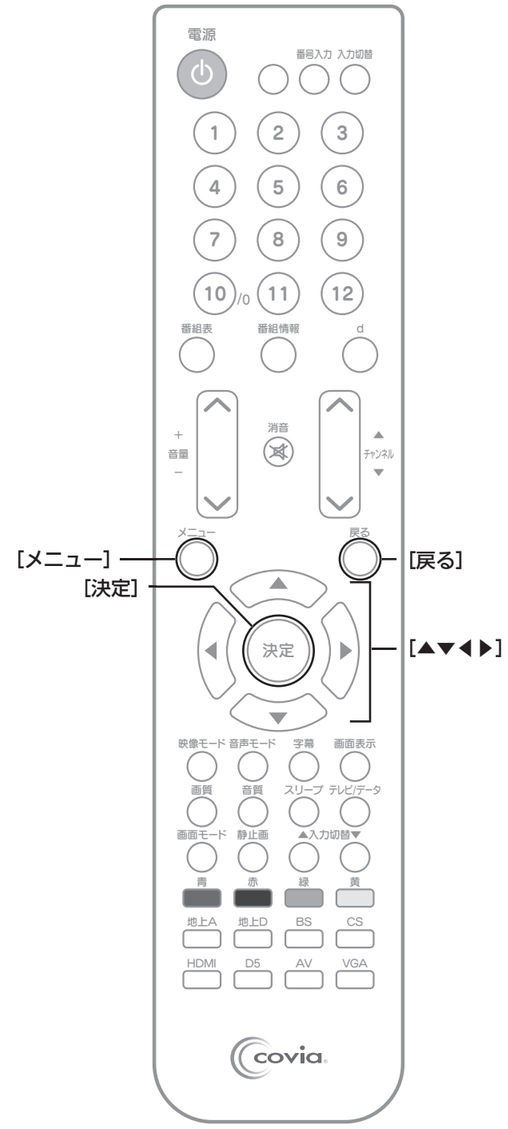
基本操作

設定メニュー中の操作方法は、原則的に以下の操作の組み合わせでおこないます。

❶［設定メニュー］を押す
❷［▲▼◀▶］で項目を選ぶ
❸［決定］を押す
❹メニューによっては画面右側にサブメニューが表示されるので、［▲▼］で項目を選び、［決定］を押す
❺［戻る］または再度［設定メニュー］を押して設定を確定し、一つ前のメニューに戻る

参入

現在選択されている入力で設定不要の項目は薄く表示されます。



本製品の初期設定をする

初期設定メニュー

アンテナ設定

■地上デジタルのアンテナレベル

地上デジタル放送用アンテナの受信レベルを表示します。

■ BS・110 度 CS アンテナレベル

BS・110 度 CS 放送用アンテナの受信レベルを表示します。

■ BS・110 度 CS アンテナ電源供給

本製品からアンテナへの電源供給をおこなうかを設定します。
初期設定では、本製品からアンテナに電源を供給する設定になっています。
マンションなどにお住まいで、アンテナに他の機器から電源が供給されているときには、オフにします。

地上アナログ自動設定

お住まいの地域のアナログ放送の受信チャンネル等を設定します。
アナログ放送帯域をスキャンし、放送されているチャンネルをメモリーに記憶します。終了後、「オートスキャンが終了しました。チャンネル一覧を表示しますか？」と表示されます。「はい」または「いいえ」を選択して [決定] を押してください。「はい」を選択すると次項の「リモコンボタン編集」のメニューに移行します。

【初期スキャン】：お買い上げ直後の場合はこちらをお選びください。

【再スキャン】：再度設定する場合はこちらをお選びください。

地上デジタル・BS・110 度 CS デジタル自動設定

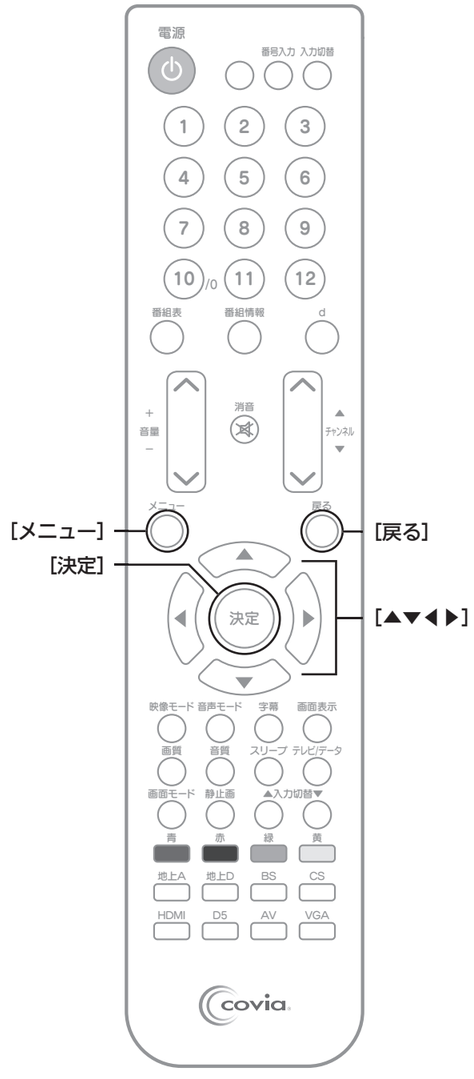
お住まいの地域の地上デジタル放送と、BS・110 度 CS デジタル放送の受信チャンネルを設定します。
選択された帯域をスキャンし、放送されているチャンネルをメモリーに記憶します。終了後、「オートスキャンが終了しました。チャンネル一覧を表示しますか？」と表示されます。「はい」または「いいえ」を選択して [決定] を押してください。「はい」を選択すると次項の「リモコンボタン編集」のメニューに移行します。

【初期スキャン】：お買い上げ直後の場合はこちらをお選びください。

【再スキャン】：再度設定する場合はこちらをお選びください。

⚠注意

スキャン実施時間により、放送局が運用されていない場合があります。なるべく、日中におこなってください。



初期設定メニュー

リモコンの詳細設定

地上アナログまたは、地上デジタル・BS・110 度 CS デジタル自動設定をおこなうことで、受信可能なチャンネルはリモコンの数字ボタンに登録され、ワンタッチで選局することができます。
自動設定のチャンネルボタンへの割り当てをお好みのレイアウトに変更する場合は以下の手順でリモコンの詳細設定で新たな設定をおこなってください。

はじめにご希望の放送種別（地上 A、地上 D、BS、または CS）を選択してください。

地上アナログ放送

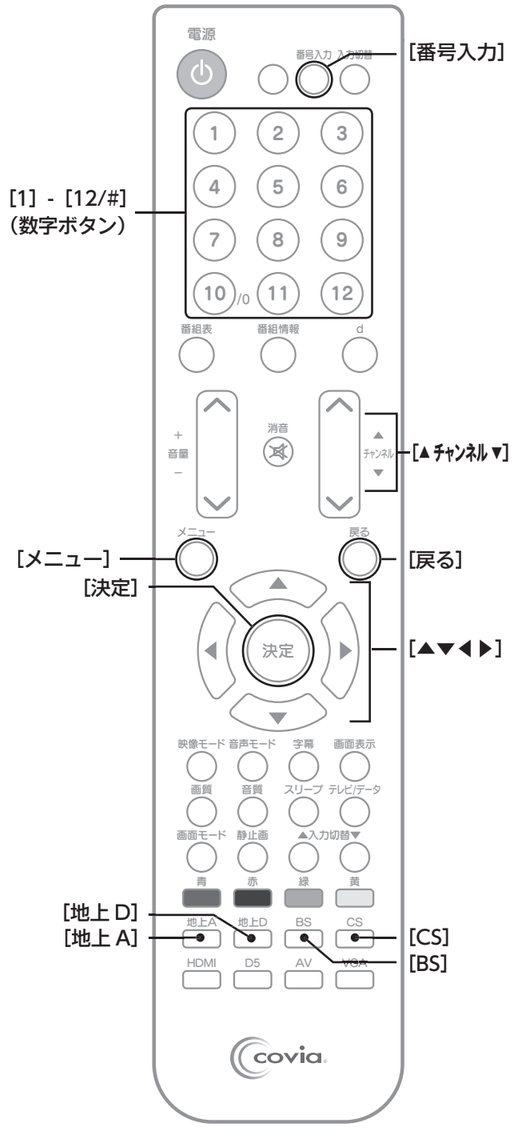
リモコンの詳細設定から地上アナログを選択します。
変更したいボタンの数字を選んで**【決定】**を押します。
【ボタン】：
そのチャンネルを選局する時に押す数字ボタンの数字を入力します。
【微調整】：
【▲▼】を押し、画面に表示される映像を見ながら、最良の受信状態に調整してください。
【スキップ】：
【決定】を押して**【▲ チャンネル ▼】**で順番に選局する場合、このチャンネルを含める（●）か除く（レ）かを設定します。
【戻る】を押して設定完了します。

地上デジタル・BS・110 度 CS 放送

リモコンの詳細設定から地上デジタル、または BS デジタル、110 度 CS デジタルのいずれかを選択します。
変更したいボタンの数字を選んで**【決定】**を押します。
【ボタン】：
そのチャンネルを選局する時に押す数字ボタンの数字を入力します。
【スキップ】：
【決定】を押して、**【▲ チャンネル ▼】**で順番に選局する場合、このチャンネルを含める（●）か除く（レ）かを設定します。
【戻る】で設定完了します。

①参入

順番に選局するときに含まれていないチャンネルを選局するには、【番号入力】を押してご希望のチャンネル番号を入力します。



本製品の初期設定をする

初期設定メニュー

ネットワーク設定

データ放送でインターネットに接続するためのネットワーク設定をします。

IP 設定

本製品に IP アドレスを割り当てます。
本製品をルーター等に接続する場合、ルーターや契約プロバイダーの機能により、自動的に IP アドレスが割り当てられるときは、DHCP を「オン」に設定します。しばらくすると、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイに値が設定されます。

手動で IP アドレスを割り当てる場合には、DHCP を「オフ」に設定し、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイに値を入力します。

数字ボタンを使用して値を設定します。

【設定終了】で設定を完了します。

DNS 設定

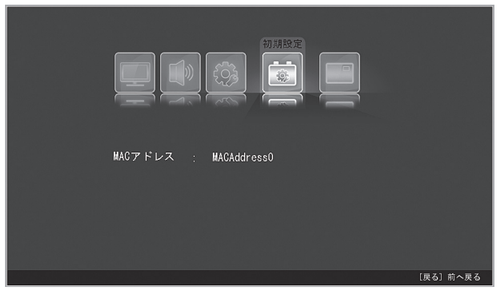
通常は DNS アドレス自動取得には「オン」を設定してください。
DNS アドレスを手動で設定する場合には、「オフ」に設定し、DNS プライマリ、DNS セカンダリアドレスに値を入力します。
数字ボタンを使用して値を設定します。
【設定終了】で設定を完了します。

MAC アドレス

ネットワーク上の機器を識別するために、本製品に割り当てられている番号を表示します。

接続テスト

上記の設定が終了した後、この項目でネットワークの接続テストをおこないます。

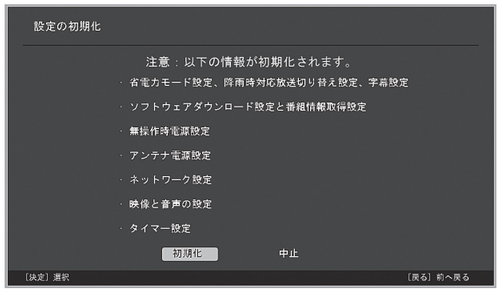


本製品の初期設定をする

初期設定メニュー

設定の初期化

「設定の初期化」を選択すると初期化される項目が表示されます。よくお読みの上、「初期化」または「中止」を選択して**【決定】**を押してください。



地域・郵便番号の設定

地域設定
チャンネル情報を正しく割り当てるために、お住まいの地域を設定します。
地域を選択すると、右側に県名または、地域が表示されるため、お住まいの県名、または地域を選択して**【決定】**を押します。

郵便番号設定
お住まいの地域の郵便番号を設定します。数字ボタンを使って入力します。

【設定終了】で設定を完了します。

設定メニューで様々な設定をする

映像設定

コントラスト

映像のコントラストを調節します。

●設定範囲　0 ～ 100

- **コントラスト値を増加**
  映像の白い部分のコントラストが強くなる。
- **コントラスト値を減少**
  映像の黒い部分のコントラストが強くなる。

明るさ

映像の明るさを調節します。

●設定範囲　0 ～ 100

- **明るさ値を増加**
  映像の暗い部分が明るくなる。
- **明るさ値を減少**
  映像の明るい部分が暗くなる。

色の濃さ

映像の色の濃さを調節します。

●設定範囲
0 ～ 100

色合い

映像の色合いを調節します。

●設定範囲
－ 50 ～ 50

シャープネス

映像のクリア度を調節します。

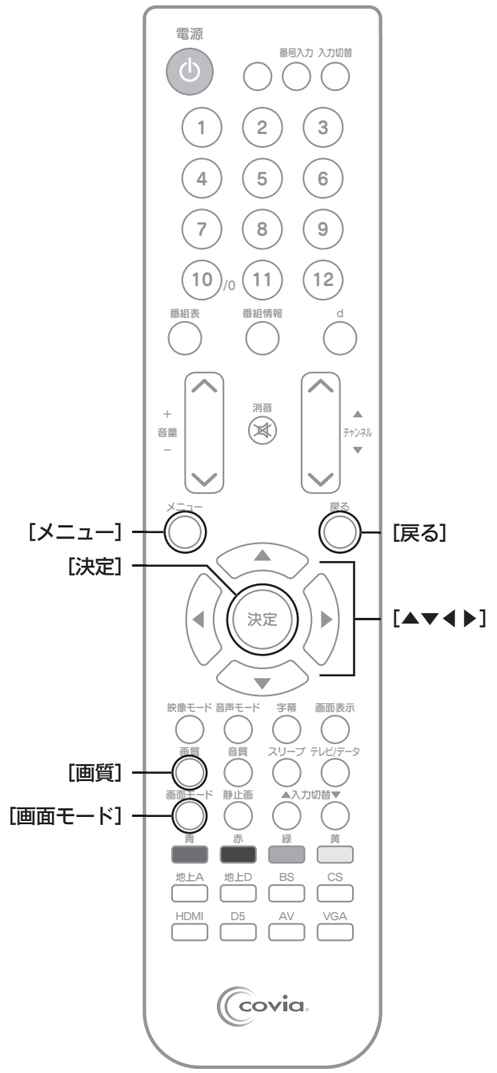
●設定範囲　0 ～ 100

- **シャープネス値を増加**
  映像がよりクリアになる。
- **シャープネス値を減少**
  映像がよりスムーズになる。

バックライト

映像の明るさを調節します。
部屋が暗いときは、バックライトを低くすることをお奨めします。消費電力も低く抑えます。

●設定範囲
0 ～ 100



画質モード

本製品の画質を設定します。

●選択項目

標準：
通常の画質モードです。

ダイナミック：
コントラスト・明るさ・色の濃さを通常よりやや高めに設定します。鮮明な印象の画質モードです。

シネマ：
コントラスト・明るさをやや低めに設定します。映画放送に適した画質モードです。

ユーザー設定：
お好みに合わせて設定します。上述のコントラスト・明るさ・色の濃さ・色合い・シャープネス・バックライトのいずれかを調整すると自動的にこのモードになります。

画面モード

画格を設定します。

	■ 標準 横縦比 4：3 の映像をそのままの比率で縦いっぱいに拡大して表示します。 左右両端に黒い部分が表示されます。
	■ ズーム 標準の映像をそのままの比率で約 1.67 倍に拡大して表示します。 左右両端に黒い部分が表示されます。 映像の上下が切れます。
	■ シネマ 標準の映像をそのままの比率で拡大して横いっぱいに表示します。 映像の上が切れます。
	■ フル 横縦比 4：3 の映像の場合は横方向のみに拡げて表示します。 横縦比 16：9 の映像はそのままの比率画面いっぱいに表示します。
	■ パノラマ 横縦比 4：3 の映像を横方向にのみ拡げて表示しますが、センター部分から左右にいくにつれて拡げる率が大きくなります。
	■ ドットバイドット 映像をオリジナルの解像度で表示します。

① 参入

●[画面モード] を押して設定することもできます。
●入力の種類によって選択できる画面モードは異なります。たとえば、1080i のシグナル受信中は「フル」しか選択できません。

画質詳細設定

サブメニューが表示されます。

■色温度
映像の色温度を設定します。

●選択項目
標準：標準の色温度に設定します。
暖色：赤っぽくなります。
冷色：青っぽくなります。

■ノイズリダクション
ノイズの削除レベルを選択します。
強：削除する割合を高くします。
中：削除する割合を、高と低の中間にします。
弱：削除する割合を低くします。
オフ：ノイズリダクションを使用しません。

■ビデオエクスパンダー
ダイナミックにコントラストを改善します。例えば、かすみがかかったような映像が続く場合にコントラストをつけて、くっきりした映像にします。

●選択項目
オン：ビデオエクスパンダーを有効にします。
オフ：ビデオエクスパンダーを無効にします。

■ファインシネマ
映画にふさわしい画面にします。アナログテレビ・映像入力端子・S- ビデオ入力端子からのシグナルにのみ有効です。

●選択項目
オン：ファインシネマを有効にします。
オフ：ファインシネマを無効にします。

■オートコントラスト
映像にあわせてバックライトを調節します。

●選択項目
オン：オートコントラストを有効にします。
オフ：オートコントラストを無効にします。

音声設定

本製品の音声出力を設定します。

低音

低音の強弱を調整します。

●設定範囲

0 ～ 100

高音

高音の強弱を調整します。

●設定範囲

0 ～ 100

バランス

左右のスピーカーの出力バランスを調整します。

●設定範囲

－ 50 ～ 50

サラウンド

サラウンド音響効果の設定をします。

●選択項目

オン：音響効果を有効にします。

オフ：音響効果を無効にします。

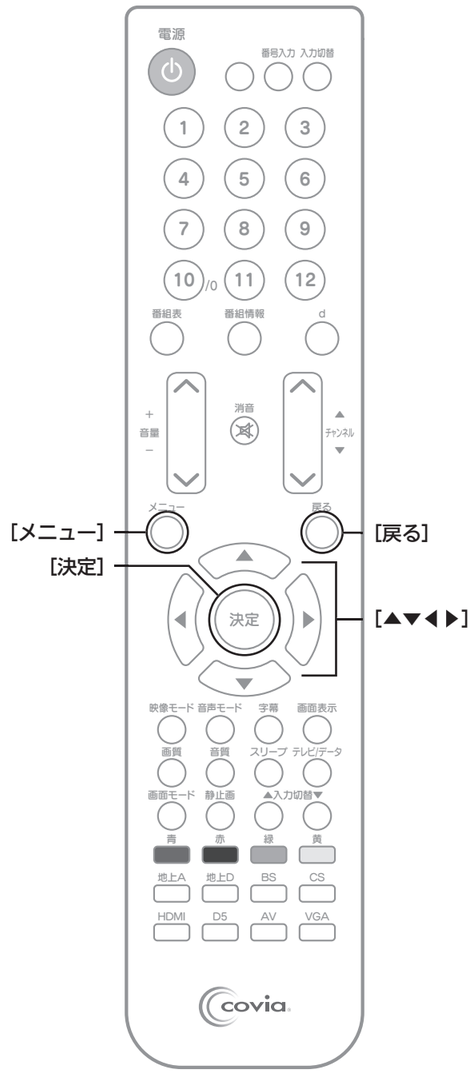
自動音量調整

異なった音声入力間の音量差を自動的に調整します。

●選択項目

オン：自動的に調整します。

オフ：調整しません。



光音声出力

光音声出力端子から AV アンプなどを接続するときの、音声出力形式を設定します。

●選択項目

オート：

デジタル放送（地上、BS、CS）受信時には AAC で、HDMI 入力端子からの音声は PCM で出力します。AAC 対応の AV アンプなどをつないでいるときに選択してください。

PCM：

AAC に対応していない AV アンプなどをつないでいるときに選択してください。音声が PCM（2ch）の音声に変換されて出力されます。

音声モード

番組ごとに設定された音声の選択肢の中で切り替えます。画面右上に現在の設定が表示されますから、左右矢印でご希望の音声に切り替えてください。

音質モード

本製品の音質を設定します。

●選択項目

音楽：

高音・低音とも強調する音楽に向いた設定です。

シネマ：

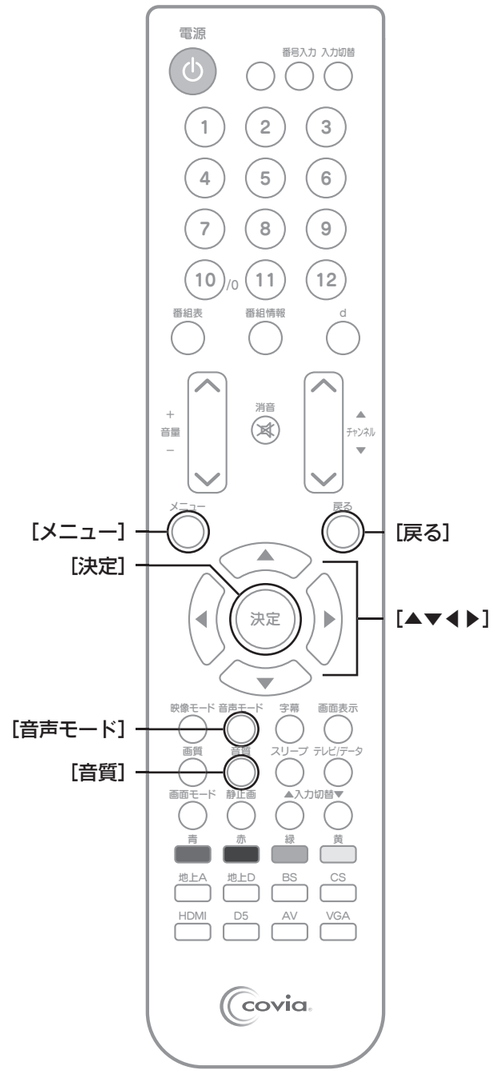
映画に向いた設定です。

ニュース：

高音・低音をやや抑えます。ニュースなど、人間の声の音域に適切な設定です。

ユーザー設定：

低音・高音のいずれかを調整すると自動的にこのモードになります。



機器設定①

本製品の設定をします。

表示言語 /Language

設定メニューの言語を設定をします。

●選択項目

日本語：日本語で表示します。

English：英語で表示します。

視聴制限設定

このメニューを選択すると、最初に暗証番号入力の画面になります。工場出荷時には 0000 に設定されています。初めて設定する時はこの番号を入力してください。正しい暗証番号を入力するとサブメニュー画面が表示されます。

視聴年齢制限設定

ペアレンタルコード（視聴制限コード）が設定されている番組の視聴に関する設定を行います。**【決定】**を押してサブメニューを表示させ、ご希望の年齢を選択して再度**【決定】**を押してください。

●設定範囲

制限なし、4 歳～ 18 歳まで（1 歳刻みで選択可能）

① 参入

設定された視聴制限を超える番組を受信時に、暗証番号入力画面が表示されます。正しい暗証番号が入力されないとその番組の視聴はできません。

暗証番号設定

視聴制限に使う暗証番号を設定・変更します。

❶現在の暗証番号を入力する

❷新しい暗証番号を**【1】**から**【10】**までの数字ボタンで入力し、**【決定】**を押す

●**【10】**は**「0（ゼロ）」**として使用します。

❸新しい暗証番号を再入力して**【決定】**を押す

暗証番号削除

暗証番号を削除し、視聴制限を無効にします。現在の暗証番号を入力すると、暗証番号は削除されます。再度暗証番号を設定するには、上記「暗証番号設定」メニューをお使いください。（この場合、現在の暗証番号を入れる画面は表示されません。）

⚠注意

暗証番号は必ず紙などに書いて保存し、忘れたり無くしたりしないようにご注意ください。暗証番号がわからなくなると、初期化および再設定が必要になり、登録された設定やデータが初期化されてしまいます。

省エネモード

バックライトを減少させ、消費電力を抑えます。

●選択項目

オン：省エネモードに設定します。

オフ：省エネモードをキャンセルします。

無信号自動電源オフ

15 分以上無信号状態でどの操作ボタンも押されなかった場合に電源をオフにする機能です。

●選択項目

オン：自動的に電源をオフにします。

オフ：自動的に電源をオフにしません。

ダウンロード設定

サブメニューが表示されます。

放送からのダウンロード

本製品には、デジタル放送のみに関連する部分のソフトウェアを自動的に更新する機能があります。ソフトウェアはデジタル放送電波の中に含まれて送信されます。**【自動】**と設定しておくと、常に最新版に置き替えられたソフトウェアで、本製品をお使いいただけます。通常は**【自動】**をお選びください。

●選択項目

自動：自動的にダウンロードします。

オフ：ダウンロードしません。

ソフトウェアバージョン

本製品ソフトウェアのバージョン番号を表示します。

番組情報更新設定

サブメニューが表示されます。

全番組情報の取得更新：

直に全番組の情報を更新します。

「はい」または「いいえ」を選択して**【決定】**を押します。

番組情報自動更新：

午前 1 時に自動的に番組情報を取得更新するかしないかを設定します。

オン：自動更新をおこないます。

オフ：自動更新をおこないません。

機器情報

B-CAS カード情報

ご使用になっておられる B-CAS カードの番号を表示します。

地域設定

お住まいの地域を設定します。

まず地域を選択して**【決定】**を押します。右側の県名および地域表示部分にカーソルが移動しますので、お住まいの地域を選択して**【決定】**を押します。

郵便番号設定

お住まいの地域の郵便番号を設定します。数字ボタンを使って入力してください。

【設定終了】で設定を完了します。

●**【10】**は「0（ゼロ）」として使用します。

放送メール

サブメニューが表示されます。

メール

放送局よりの通知メールなど、受信したメールを表示します。

CS 掲示板

110 度 CS デジタル放送波より通知される掲示板情報を表示します。

機器設定②

受信設定

字幕切替

字幕の言語設定をおこないます。

●選択項目

字幕第一言語：第一言語で表示します。

字幕第二言語：第二言語で表示します。

オフ：字幕を表示しません。

文字スーパー表示設定

文字スーパーの言語を設定します。

●選択項目

第一言語：第一言語で表示します。

第二言語：第二言語で表示します。

オフ：文字スーパーを表示しません。

テレビ／データ切替

地上デジタル放送 /BS・110 度 CS デジタル放送には、放送番組に連動したデータ放送サービスと、放送番組とは独立したデータ放送サービスがあります。このメニューでは番組とは無関係の独立したデータ放送の受信を設定します。

① 参入

番組に連動したデータ放送をご覧になるには［d］ボタンを押してください。

●選択項目

テレビ：通常のテレビ放送

データ：独立したデータ放送

降雨対応放送切替

降雨対応放送とは、雨天など BS・110 度 CS 放送の受信状態が悪い時に画質や音質が通常放送に比べて低下した状態で引き続き受信するものです。通常はオートに設定してください。

●選択項目

自動：自動的に切り替えます。

オフ：切り替えません。

タイマー設定

スリープタイマー

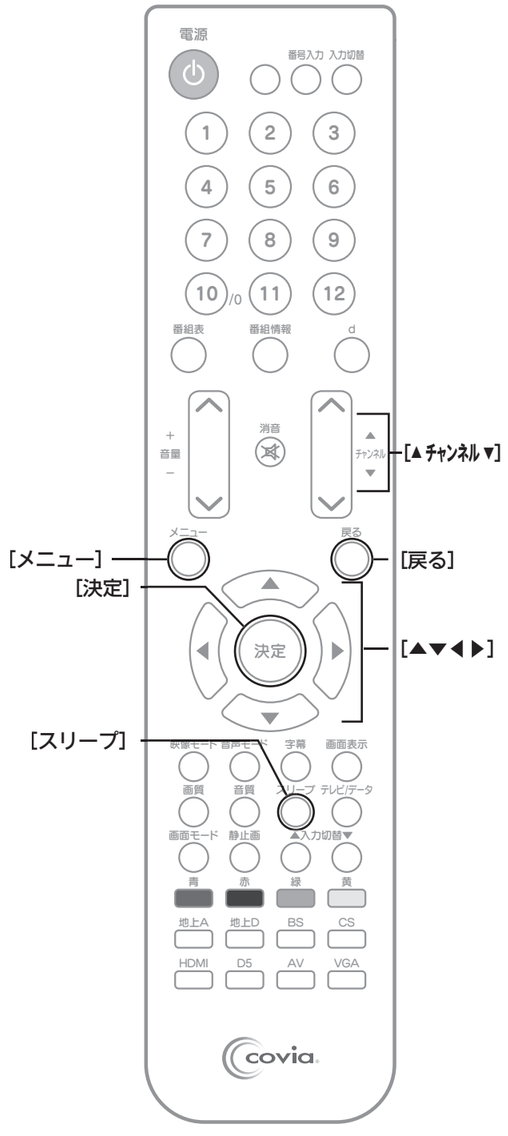
本製品の電源を切るまでの時間を設定します。

●設定範囲

オフ、30 分、60 分、90 分、120 分

① 参入

［スリープ］を押しても設定できます。



画面調整（PC 接続の設定）

この項目は VGA 入力時に限り設定が可能です。
以下の設定は VGA 入力映像を見ながら調整します。

水平位置

画像の水平位置を調整します。
初期値：0　　－ 10 ～＋ 10

垂直位置

画像の垂直位置を調整します。
初期値：0　　－ 10 ～＋ 10

水平サイズ

画面の水平サイズを調整します。
初期値：0　　－ 10 ～＋ 10

垂直サイズ

画面の垂直サイズを調整します。
初期値：0　　－ 10 ～＋ 10

クロック

入力信号のサンプリング時間を調整します。画面に縦縞が出る場合に調整してください。
初期値：0　　－ 50 ～＋ 50

位相

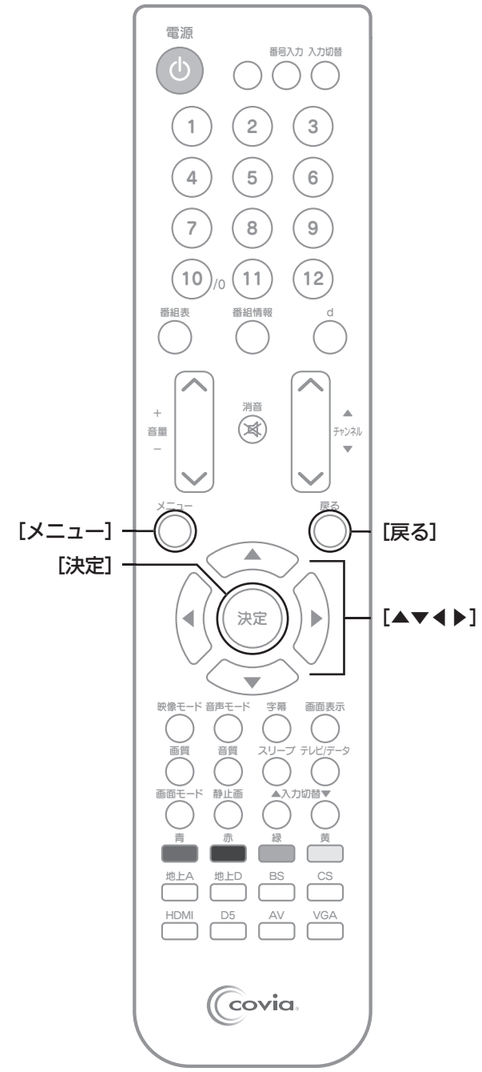
入力信号のサンプリング周波数を調整します。画面がちらつくときに調整してください。
初期値：0　　－ 50 ～＋ 50

自動調整

「はい」を選択すると入力信号に合わせ、自動的に画面が最適になるよう調整します。
接続した機器、入力信号により、最適化されない場合がありますので、その場合には、手動で調整してください。

設定の初期化

【決定】を押すと、すべての画面調整の値を工場出荷時に戻します。



その他

本製品のよくあるご質問と主な仕様を記載します。

故障かな？と思ったら

お問い合わせの前に

まず、以下の箇所に問題が無いかご確認ください。

●アンテナ線や電源コード、外部機器との接続が正しくおこなわれているか？
●入力切替で選択した放送や外部機器が正しく選択されているか？

以下の状態は故障ではありません。

●液晶画面の中に、点灯したままの点、または点灯しない点がある
画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（滅点）が表れたりしますが、故障ではありません。液晶画面は非常に精密な技術で製造されており、99.99% 以上は正常に機能する画素ですが、技術的な限界でごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素が発生します。

●ときどき本製品からきしみ音が聞こえる
本製品は使用時に本体が温かくなる程度の程度の熱を発します。これにより周囲との温度差でキャビネットがわずかに収縮し、きしみ音を発する場合があります。これは故障ではなく、性能等におよぼす悪影響もありません。

●デジタル放送のチャンネルを変えたり、番組が切り替わったりするときにノイズが出る
デジタルハイビジョン信号と標準テレビ信号など、解像度の異なる映像が切り替わるときに、同期信号などが白い線として見えることがあります。

●豪雨や豪雪など悪天候のときに、映像が乱れたり、放送が受信できなくなる
衛星放送のアンテナは、比較的天候の影響を受けやすいため、悪天候の際は受信感度が落ちることがあります。受信する地域が晴れていても、放映している地域の天候が悪いと、映像が乱れたり、受信できなくなる場合があります。

●深夜一時的に放送が受信できなくなる
衛星放送の場合、春分の日や秋分の日の前後 20 日程度は、放送用衛星が地球の陰に入ってしまうため、深夜一時的に放送を受信できなくなることがあります。

エラーコード一覧

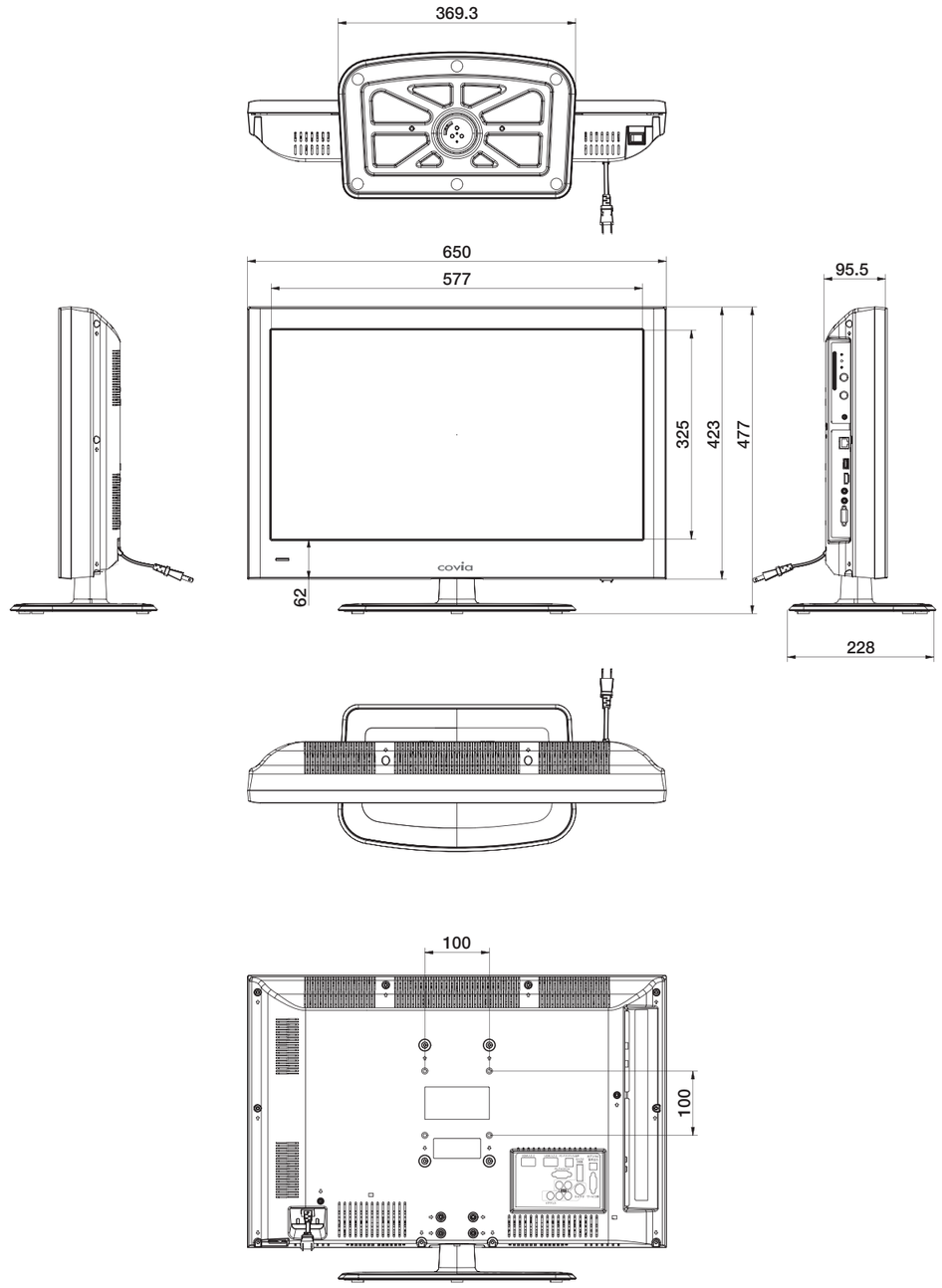
エラー番号	メッセージ	対処方法
なし	xx 秒後に電源が切れます。どれかボタンを押すと解除されます。	スリープタイマーにより電源を切るまでの時間を表示しています。スリープタイマーを解除するにはどれかボタンを押してください。
なし	チャンネルを切り替えますか?	登録していない有料放送チャンネルに切り替えようとしています。他のチャンネルをお選びください。
なし	予約されています。	既に視聴予約された番組です。
なし	予約チャンネルに切り替えます。	視聴予約された番組に切り換ります。
なし	未読メールがあります。	放送局や本機からのメールが来ています。機器情報メニューを使ってメールをご覧ください。
なし	B-CAS カードが正しく挿入されていません。B-CAS カードをご確認ください。	カードの裏表・挿入方向を確認して再挿入してください。
A10X	この B-CAS カードはご使用になれません。ご覧の放送局のカスタマーセンターお問い合わせください。(A10X)	正しい B-CAS カードを挿入してください。カードの IC 部の汚れや、破損の可能性があります。正しく装着しても改善されないときは、ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズのカスタマーセンターにご連絡ください。
A103	B-CAS カードの交換が必要です。B-CAS カスタマーセンターへご連絡ください。(A103)	B-CAS カードが故障している、または交換の必要性があります。B-CAS カードの抜き差しをし、改善されない場合には、ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズのカスタマーセンターにご連絡ください。
A10X	この番組をご覧になるには契約が必要です。詳細はご覧の放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。(A10X)	契約されていない番組を選局しています。別のチャンネルに変更するか、該当する放送局と契約をしてください。
830X	このチャンネルはご覧いただけません。ご覧の放送局のカスタマーセンターへご連絡ください。(830X)	契約されていない番組を選局しています。別のチャンネルに変更するか、該当する放送局と契約をしてください。
830X	契約期限が切れています。ご覧の放送局のカスタマーセンターへご連絡ください。(830X)	契約期限が切れた番組を選局しています。別のチャンネルに変更するか、該当する放送局と再契約をしてください。
830X	番組に視聴制限があるためご覧になれません。ご覧の放送局のカスタマーセンターへご連絡ください。(830X)	契約されていない番組を選局しています。別のチャンネルに変更するか、該当する放送局と契約をしてください。
E201	信号レベルが低下しています。(E201)	降雨、積雪などの影響により、電波が弱くなったため、引き続き放送を受信できる低階層映像に切り替えました。画質、音質などが少し悪くなり、音楽情報が表示できないこともあります。
E202	信号を受信できません。(E202)	降雨、落雷、積雪などの天候の影響や、放送に適合しないアンテナを使用している、アンテナ線が切れている、外れている等の理由から、放送信号を受信できません。 上記の問題がないかご確認ください。
E203	現在放送されていません。(E203)	選局したチャンネルが休止中や、番組が終了しています。 番組表などで放送時間をご確認ください。
E204	このチャンネルはありません。(E204)	放送のないチャンネルを選局しました。 別のチャンネルを選局してください。
E209	BS・110 度 CS アンテナ線がショートしています。アンテナとの接続を確認しください。(E209)	本機の電源を切り、ショートの原因を取り除いてから、電源を入れ直してください
なし	データ取得中	デジタル放送のデータ取得中です。そのままお待ちください。
なし	ネットワークにアクセスできません。ネットワークの接続を確認してください。	LAN 回線の接続を確認してください。
なし	チャンネルが割り当てられていません。	チャンネルが割り当てられていないリモコンの数字ボタンが押されました。別のチャンネルを選んでください。
なし	入力信号がないので調整できません。	VGA モードでの画面調整時にはパソコンからの入力が必要です。パソコンを立ち上げてください。
なし	標準モードでは動作しません。	パソコン画面は標準モードでは動作しません。他の画格をお選びください。
なし	予約された番組の放送が中止になりました。電子番組表で放送番組をご確認ください。	番組表でご確認ください。

本製品の主な仕様

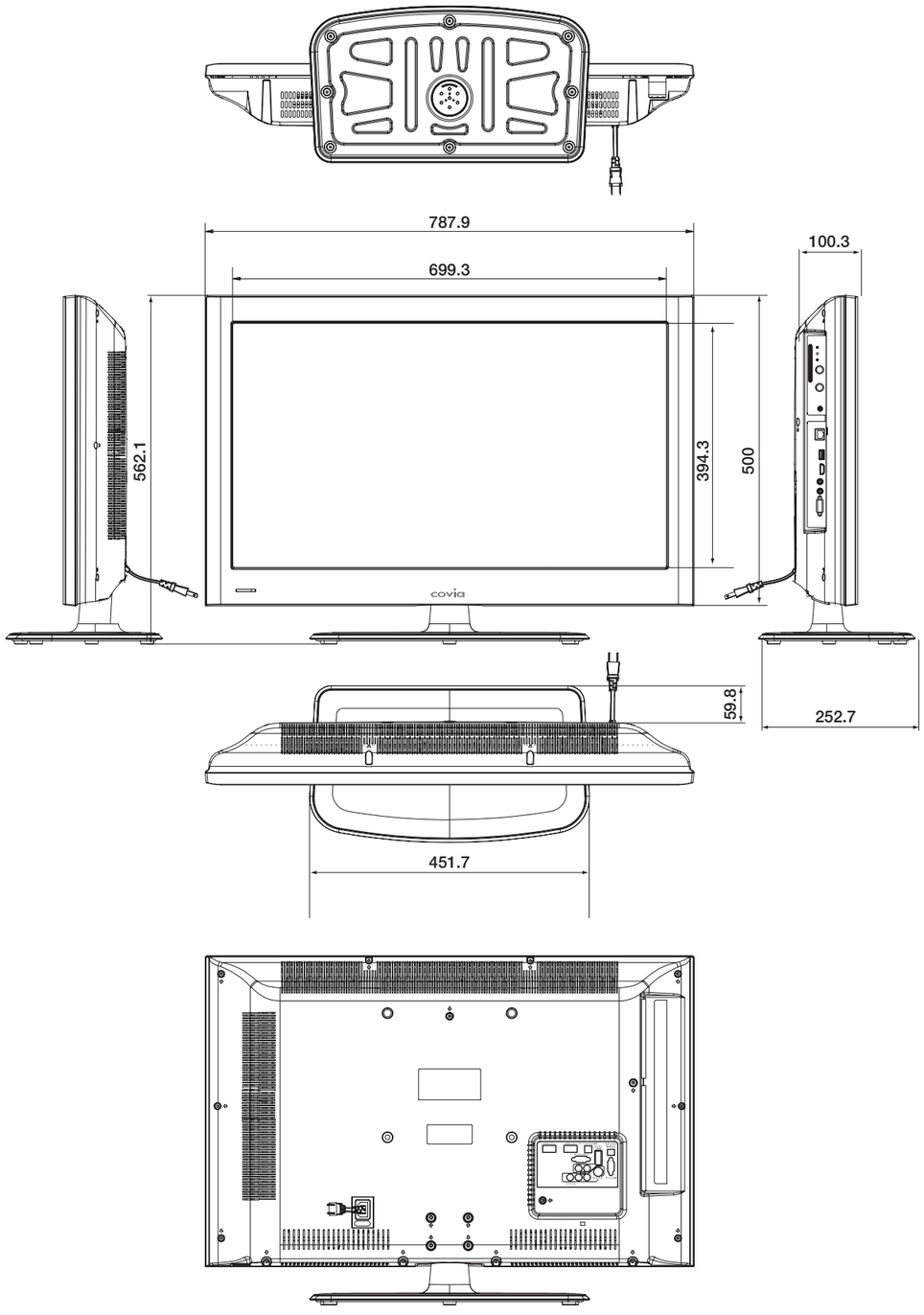
デジタルハイビジョン液晶テレビ			
仕様			
型名		CTV26-C1	CTV32-C1
使用電源		AC100V 50/60Hz	
消費電力		46W	44W
待機電力		主電源オン：0.5W （主電源オフ：0W）	主電源オン：0.5W （主電源オフ：0W）
年間消費電力		85kWh/ 年	82kWh/ 年
受信チャンネル		VHFch1 ～ ch12/UHFch13 ～ ch62	
		CATVc13 ～ c63	
		地上デジタル 000 ～ 999	
		BS デジタル 000 ～ 999	
		CS デジタル 000 ～ 999	
ディスプレイ		26 インチ Full HD 液晶ディスプレイ	32 インチ HD 液晶ディスプレイ
画素数		1920 × 1080	1366 × 768
アスペクト比		16：9	
コントラスト比		800：1	1,000：1
視野角 上下/左右		150 度 /160 度	178 度 /178 度
応答速度		5ms	7ms
音声出力		4W+4W	6W+6W
接続端子	VHF/UHF アンテナ入力	1	
	BS・CS110 度アンテナ入力	1	
	HDMI 映像 / 音声入力	3	
	D 映像入力 ＋ステレオ音声入力	2	
	S- ビデオ映像入力	1（ステレオ音声入力はビデオ入力と共用）	
	ビデオ映像入力 ＋ステレオ音声入力	1	
	PC- アナログ映像 ＋ステレオ音声入力	1	
	光デジタル音声出力	1	
	サービス用端子	1	
	ヘッドフォン出力	1	
解像度	解像度（HDMI 接続）	720 × 400/70Hz、1920 × 1080/60Hz、480I/60Hz、480P/60Hz、720P/60Hz、1080I/60Hz、1080P/60Hz、640 × 480/60/72/75Hz、800 × 600/56/60/75Hz、1024 × 768/60/70/75Hz	
	解像度（D 接続）	480I/60Hz、480P/60Hz、720P/60Hz、1080I/60Hz、1080P/60Hz	
	解像度（PC 接続）	640 × 480/60/72/75Hz、800 × 600/56/60/75Hz、1024 × 768/60/70/75Hz	
外形寸法 （スタンド含む：幅×高さ×奥行）		650㎜× 477㎜× 228㎜	788㎜× 561㎜× 252㎜
質量（スタンド含む）		9.5kg	12.5kg
付属品		専用スタンド× 1、スタンド用ネジ× 4、転倒防止ひも× 1、 転倒防止ひも用ネジ× 1 、リモートコントローラ× 1、リモートコントローラ用乾電池× 2 アンテナケーブル× 1、B-CAS カード× 1、B-CAS ユーザー登録ハガキ× 1、 B-CAS カード固定用金具× 1、本体底蓋× 1、取扱説明書（和文）× 1、保証書× 1	
使用環境/保管環境		温度：0℃～ 35℃ / ー 20℃～ 60℃ 湿度：20% ～ 65%RH/10% ～ 90%RH（結露なきこと）高度：0 ～ 1,980m/0 ～ 2,980m	

- この製品は日本国内専用です。外国では電源電圧が異なるため使用できません。This monitor is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.
- 仕様の一部を予告無く変更することがありますのでご了承ください。
- covia ロゴは登録商標です。
- HDMI、HDMI ロゴおよび High-Definition Multimedia Interfeace は HDMI Licensing LLC. の登録商標または商標です。
- その他記載の会社名および製品名は各社の登録商標または商標です。

CTV26-C1 外形図



CTV32-C1 外形図



保証とアフターサービスについて

●本製品は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではご利用いただけません。
This TV is designed only for use in Japan and cannot be used in any other countries.

保証書について

本製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、販売店よりお受け取りください。保証書は所定事項の記入および記載内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。

保証期間は、お買い上げの日から 1 年間です。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

本製品の不具合・修理など、何らかの原因で、本製品のメモリーに保存されたデータが破損・消滅した場合など、いかなる場合においても記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。
また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復は致しません。あらかじめご了承ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

製品サポートについて

本製品に異常があると思われたときには、まず本書の「故障かな？と思ったら」（➡ 56 ページ）をご覧ください。
それでも解決しないときは、下記サポートセンターにお問い合わせください。

Covia サポートセンターへのお問い合わせは

〒 210-0833　神奈川県川崎市川崎区桜本 2-32-1
川崎 SRC4A　Covia サポートセンター

TEL：050-5814-1111　E-mail：tv@covia.net

TEL 受付時間／ AM10：00 ～ PM19：00 まで　月曜～金曜
AM10：00 ～ PM18：00 まで　土・日・祝日
（夏期、年末年始、特定休業日を除く）

【個人情報の取扱】

お客様からご提供いただいた個人情報は、修理や製品のお問い合わせなどのアフターサービスの目的以外には利用致しません。

またこれらの利用目的の達成に必要な範囲内での業務委託をする場合などを除き、お客様の同意なく第三者への提供、または第三者と共同して利用致しません。

デジタルハイビジョン液晶テレビ
CTV26-C1/CTV32-C1

株式会社コヴィア　Covia,Inc.

本書に記載されている内容は、予告なく変更されることがあります。あらかじめご了承ください。
本書の内容を無断で転載、コピーすることは禁止されております。

10.07.05